

第五十四條 大藏大臣ハ第五十一條ノ請求ヲ受クルトキハ金庫ヲシテ一箇月以内ニ其指定セフレタル
 出納主任官へ現金ヲ發送セシムルモノトス

第五十五條 第三十五條ノ第二項第三項第五項第六項ノ經費金ヲ受取ントスルトキハ各主管廳ノ收支
 命令官ハ請求書ヲ大藏大臣へ送付シ其交付ヲ請求スヘシ

第五十六條 大藏大臣ハ前條ノ請求ヲ受クルトキハ金庫ヲシテ其指定セラレタル出納主任官へ現金ヲ
 交付セシムルモノトス

第五十七條 各廳ノ收支命令官ハ第十條第十二條ノ支出ヲ爲サントスルトキハ事由ヲ具申シテ其仕拂
 ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第五十八條 各廳ノ本廳外ノ地ニ在ル小支部局若クハ出張官吏等へ經費金ヲ遞送セントスルトキハ會
 計主務官ヨリ仕拂切符ヲ發シ金庫へ送付シ送金ヲ請求スヘシ

第五十九條 國庫常用部ヨリ會計ノ取扱ヲ異ニスルモノへ支出スル經費ハ主管廳ノ請求ニ據リ大藏大
 臣ハ直ニ金庫ヨリ現金ヲ仕拂ハシムルモノトス

第六十條 國債元利ノ仕拂ヲ爲ストキハ大藏大臣ハ其豫定金額ヲ北海道廳府縣廳へ達シテ其仕拂ヲ執
 行セシムルモノトス但銀行ヲシテ取扱ハシムル國債元利ノ仕拂ハ其取扱銀行へ金額ヲ交付シテ之ヲ
 執行セシム

第六十一條 國庫常用部ヨリ國庫中他ノ部準備部へ支出スルモノハ裁定ノ豫算ニ基キ大藏大臣ノ命令
 ニ據リ直ニ之ヲ移スモノトス

第六十二條 各廳ノ收支命令官ハ會計年度經過後ニ於テ其會計年度ノ支出ニ屬スヘキ契約ヲ爲スコト
 ヲ得ス

第六十三條 各廳ニ於テ既ニ仕拂タル金額ノ内返納ヲ要スルトキ若クハ第三十五條但書及第三十六條

ニ據リ現金ヲ受取り仕拂殘高アルトキハ即日之ヲ金庫へ納付シ廳中ニ留ムルコトヲ得ス但第三十五
 條第一項第七項ノ場合ハ此限ニアラス

第六十四條 金庫ハ大藏大臣ノ命令ヲ受クルニアラサレハ一切仕拂ヲ執行スルコトヲ得ス

第五章 報告

第六十五條 毎年豫算ノ裁定アルトキハ各廳ノ收支命令官ハ一週年度中ニ係ル歳入ノ月額豫算表ヲ製
 シ豫算裁定ノ達ヲ受タル後十五日以内ニ之ヲ大藏大臣へ報告スヘシ但收入期節ノ豫定シ難キモノハ
 此限ニアラス

第六十六條 郡區長ハ第十九條ニ據リ徵稅令書ヲ發シタルトキハ之ヲ北海道廳長官若クハ府知事縣令
 へ報告スヘシ

第六十七條 北海道廳長官府知事縣令ハ前條郡區長ノ報告ニ據リ其徵稅額表ヲ製シ納期ヲ豫定シタル
 租稅ハ徵稅令書發付後十五日以内ニ隨時納期ヲ定ムルモノハ毎月取纏メ翌月十五日マテニ之ヲ大藏
 大臣へ報告スヘシ

第六十八條 金庫ハ各納人ヨリ收入金ヲ領收シタルトキハ毎日之ヲ其徵稅令書若クハ納額告知書ヲ發
 シタル廳へ報告スヘシ但官廳ヨリ收入金ヲ領收シタルトキハ此限ニアラス

第六十九條 稅關長ハ第三十二條ニ據リ關稅及稅關ノ諸收入送付スルトキハ同時ニ之ヲ大藏大臣へ報
 告スヘシ

第七十條 各廳ノ收支命令官ハ毎月其徵收セシメタル歳入ノ報告書ヲ製シ翌月十五日マテニ之ヲ大藏
 大臣へ送付スヘシ但關稅及稅關ノ諸收入ハ此限ニアラス

第七十一條 各廳ノ收支命令官ハ毎月其支出セシメタル歳出ノ報告書ヲ調製シ翌月七日マテニ之ヲ大
 藏大臣へ送付スヘシ

第七十二條 在外各廳ノ分任收支命令官ハ每會計年度初月ヨリ三箇月毎ニ歳出報告書ヲ主管廳長官ヘ送付スヘシ

第七十三條 本廳外ニアル支部局ノ分任収支命令官ハ第七十一條ノ期日マテニ毎月ノ歳出報告書ヲ主管廳長官ヘ送付スヘシ

第七十四條 前二條ニ據リ送付シタル歳出報告書ハ主管廳ノ收支命令官ヨリ其到達後三日以内ニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ

第七十五條 現金ヲ出納スル所ノ出納主任官ハ現金ノ受拂ヲ大藏省主計局長ヘ報告スヘシ

第七十六條 前條ノ報告期節ヲ定ムルコト左ノ如シ
一 在外各廳ノ收入及經費機密費及金庫ナキ地方各廳ノ經費ノ報告ハ毎月分ヲ翌月十日マテニ發送ス

一 陸軍ノ行軍費ノ報告ハ行軍終ル後十五日以内ニ發送ス

一 海軍ノ航海費燈臺巡回船ノ航海費ノ報告ハ航海終ル後十五日以内ニ發送ス

第七十七條 各廳ノ收支命令官ハ會計年度内ニ於テ歳入ノ徵收若クハ歳出ノ仕拂ヲ完了セサルモノアルトキハ其報告書ヲ製シ年度後十五日以内ニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ但所在地ノ隔離スル郡區役所若クハ支部局ニ係ルモノハ年度後一箇月内ニ取纏メ之ヲ送付スヘシ

第七十八條 各廳ノ收支命令官ハ會計ノ整理期限翌年度八月三十一日内ニ於テ歳出ノ支出ヲ完了セサルモノアルトキハ其報告書ヲ製シ翌年度十月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ

第七十九條 各廳ノ收支命令官ハ翌年度十一月三十日マテニ歳入ノ徵收ヲ完了セサルモノアルトキハ其報告書ヲ製シ十二月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ヘ送付スヘシ

第八十條 會計主務官ハ會計ノ整理期限マテニ概算支出ノ精算未済ノモノアルトキハ其報告書ヲ製シ

翌年度九月三十日マテニ之ヲ大藏省及會計検査院ヘ送付スヘシ

第八十一條 郡區役所又ハ支部局ノ所在地遠隔ニシテ第六十七條第七十條及第七十七條但書ノ報告期節ニ其報告ヲ取纏メ難キ場合ニ於テハ其旨ヲ大藏大臣ニ開申シ追表ヲ製シテ別ニ之ヲ報告スヘシ

第六章 雜則
第八十二條 此規則ニ掲グル仕譯書請求書月額豫算表計算書報告書徵稅令書納額告知書仕拂切符等ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第八十三條 此規則ニ關スル事務取扱ノ手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

第八十四條 現行法規中此規則ニ抵觸スル條項ハ廢止ス

○甲五拾七號 四月十三日
師範學校ノ卒業生ニシテ教職ニ從事スル者ハ其服務ノ情況ヲ記載シ毎年六月十二月ノ兩度該學校ニ報告スヘシ

但シ既發ニ係ル官立師範學校ノ卒業生ハ東京師範學校ニ同府縣立師範學校ノ卒業生ハ其學校ノアリ地方ノ所屬府縣立師範學校ニ報告スヘシ

○甲第六拾三號

本年甲第六拾號改正ノ件 (訂正濟)
○甲第六拾四號 五月一日

氷製造及氷雪販賣取締規則別紙之通相定ム
但十四年本縣乙第九拾六號布達ハ廢止ス

右布達候事

氷製造及氷雪販賣取締規則

- 第一條 氷ヲ製造セント欲スルモノハ製造方法製造場地名及其圖面ヲ詳記シ戶長ノ奥印ヲ得毎年十月三十一日迄ニ所轄警察署又ハ分署ヘ願出許可ヲ受クヘシ
- 第二條 氷雪ヲ貯藏セント欲スルモノハ貯藏場地名及其圖面ヲ詳記シ前條ノ手續ニ依リ願出許可ヲ受クヘシ
- 第三條 氷雪ヲ販賣セント欲スルモノハ所轄警察署若クハ分署ヘ願出検査ヲ受クヘシ
- 第四條 卸賣人ヨリ仲買人ヘ賣渡スルハ第一號書式ノ證書ヲ渡スヘシ
- 第五條 仲買人ハ證書ヲ所持スルニアラサレハ販賣スルヲ許サス
- 第六條 販賣者ハ第二號雛形ノ看板ヲ店頭ニ掲ケ行商者ハ第三號雛形ノ木票ヲ顯帶スヘシ
- 第七條 卸賣又ハ仲買人ニ於テ一時宅内ニ圍置ク場所ハ不潔ナカラシムヘシ
- 第八條 行商人ハ最モ入器ヲ清潔ニシ塵埃ヲ防クヘキ具ヲ用ユヘシ
- 第九條 検査濟ト雖モ貯藏中不潔ヲ生シタル品ハ販賣スルヲ許サス
- 第十條 警察官吏ハ臨時検査ヲナシ若シ不潔ト認ムルキハ直ニ其販賣ヲ差止メ或ハ之ヲ投棄セシムルヲアルヘシ
- 第十一條 此規則第三條第四條第五條第六條第八條第九條ニ違背シタルモノハ違背罪ヲ以テ罰セラルヘシ

第一號雛形

用紙適宜 曲尺四寸二分

賣渡證

何郡何町何某製造(何地貯藏)
 何年月日検査済 何町村 買受人
 凍氷又ハ氷雪何貫目 何某
 何年月日 何町村 賣渡人 何某印

第二號雛形

用材適宜 曲尺二尺八寸

○凍氷(氷雪)販賣
 何郡何町何某製造(何地貯藏)
 何町村 何某

第三號雛形

用材適宜 曲尺四寸二分

何郡何町何某製造(何地貯藏)
 ○凍氷(氷雪)行商
 何町村 何某

十九年度達

○甲第六拾五號 五月五日

明治九年乙第三拾號改正ノ件 (訂正濟)

○甲第六拾六號 五月一日

遺失物等届出手續左ノ通相定ム

一遺失物届及ヒ得遺失物届並ニ埋藏物發見届ハ所轄警察署又ハ分署ニ之ヲ爲スヘシ

一遺失物届及ヒ得遺失物届ハ最寄警察署又ハ分署ニ爲スヲ得

一遺失物届得遺失物届及ヒ埋藏物發見届ハ口述ヲ以テ爲スヲ得

一遺失物届ハ郵便(ハカキ)ヲ以テ爲スヲ得

○甲第七拾號 五月八日

明治十八年第三十四號布告ニ據リ種痘細則別紙之通相定ム

但明治十七年本縣乙第六十二號達ハ廢止ス

右布達ス

種痘細則

第一條 種痘ハ毎年春秋二季ニ施行スルモノトス

第二條 戶長ハ種痘所ノ位置并ニ毎季種痘施行ノ期日ヲ豫定シ之ヲ郡内へ報告シ其旨郡役所へ届出ツ

ヘシ

第三條 戶長ハ相當ノ醫師ヲ撰定シ部内種痘ノ事ヲ擔當セシムルモノトス其人名ハ郡役所ヲ經テ縣廳

へ届出ヘシ

但受痘者一日五十名以上アル場合ニ於テハ擔當醫ニ於テ別ニ助手ヲ指定スルヲ得

第四條 戶長ノ撰定シタル醫師ハ正當ノ故ナクシテ之ヲ辞スルヲ得ス

第五條 種痘期日ニ至ラハ受痘者ハ種痘所へ出頭シ醫師ノ接種ヲ受クヘシ

但便宜ニ依リ最寄開業醫ニ就キ種痘ヲ受クルモ妨ケナシ

第六條 受痘者ハ種痘料トシテ初種ハ金八錢再三種ハ金四錢ヲ醫師ニ納ムヘシ

但赤貧ニシテ種痘料ヲ納ムル能ハサルモノハ戶長役場ニ願出施痘券ヲ受ケ種痘料ニ代納スルヲ得

第七條 醫師齒科整骨科除クハ種痘人名簿ヲ製シ置キ種痘ヲ行ヒ若クハ天然痘患者ヲ治療シタルハ第一號

書式ノ證書ト割印ノ上之レヲ附與スヘシ

第八條 醫師ヨリ種痘證若クハ天然痘證ヲ受ケタルモノハ一週日以内ニ戶長ノ檢印ヲ受ケ之レヲ保存

スヘシ

第九條 種痘規則第四條ノ届ヲ爲シタルモノノ病氣全快又ハ事故止ミタルハ最寄開業醫ニ就キ直ニ

接種ヲ受クヘシ

廿一年二月十七日縣令第二十二號ニテ第十條刪除

第十一條 戶長役場ニ於テハ赤貧者施痘券ヲ願出ルハ事實ヲ取糺シ相違ナキニ於テハ之ヲ附與スヘ

シ

第十二條 醫師ハ種痘料ニ代納シタル施痘券ハ一季毎ニ取纏メ戶長ニ請求現金ト交換スヘシ

第十三條 醫師ハ種痘料ヲ收入スルヲ以テ給料旅費ハ勿論一切ノ費用種痘所借入料旅費ノ概ヲ支給セス

第十四條 戶長ハ第十二條ノ請求アルハ篤ト審査ヲ遂ケ相違ナキハ町村費中衛生費ヨリ支辨スヘ

シ

第十五條 戶長役場ニ於テハ別紙第二號書式ニ倣ヒ種痘明細表ヲ製シ毎年一月三十一日限り郡役所へ

差出シ郡役所ニ於テハ之レニ準シ一郡表ヲ製シ二月二十八日限り縣廳へ差出スヘシ

第一號書式ノ一〔用紙西ノ内四ツ切〕「戸長檢印

證 ○

何那何町何番地(寄留)
身分何某何女(又ハ何々)

實印ニテ
人名帳トテ
印 割

初種(再種)(三種)

左何何顆種痘濟

醫師 姓

何年何ヶ月 名

年月日

醫師 姓

名

不善感ノ者ハ種痘濟ノ文字ニ代フルニ不善感ノ文字ヲ以ラスヘシ
第一號書式ノ二〔用紙全上〕「戸長檢印

證 ○

何那何町何番地(寄留)

身分何某何女(又ハ何々)

實印ニテ
人名帳トテ
印 割

天然痘濟

何年何ヶ月 名

醫師 姓

名

實印

年月日

第二號書式

何那何町何外ヶ町村種痘明細表

明治何年中

區 別	初種		再種		三種		合 計
	善 感	不善 感	善 感	不善 感	善 感	不善 感	
滿一年以上二年以上五年以上十年以上十五年以上五年合計							
以內滿一年滿二年滿五年滿十年滿十五年以							
痘セサルモノ							
疾病事故ニテ種痘セサルモノ							
疾病事故ニテ種痘セサルモノ							
痘セサルモノ							

一種痘規則第三條ニ依リ接種セシ者ハ表中ニ算入セス表末ニ於テ其人員及感否ノ別ヲ附記スヘシ
一疾病事故ニテ種痘セサルモノ、調ハ滿十五年以上ノモノヲ算入スヘカラス

十九年度達

○甲第七拾貳號 五月十二日

市場規則別紙之通相定ム

但從來開設ノ分ハ此規則ニ據リ更ニ出願許可ヲ受クヘシ

右布達候事

市場規則

第一條 市場ヲ區分シテ左ノ二類トス

第一類 常ニ時日及場所ヲ定メ物品ヲ販賣ナスモノ

第二類 常ニ時日ヲ定メス臨時市場ヲ開キ物品ヲ販賣ナスモノ

第二條 第一類ノ市場ヲ開設セントスルモノハ左ノ各項ニ據リ規程ヲ設ケ縣廳ニ出願許可ヲ受クヘシ

第一項 市場ノ位置

第二項 賣品ノ種類

第三項 開市ノ定日及時限

第四項 役員ノ權限

第五項 加盟者及退去者ニ關スル規程

第六項 物品受渡ノ順序

第七項 口錢又ハ手数料等ノ定額

第八項 賣上金ノ收入及荷主ヘ計算ノ手續

前項ノ外必要ト認ムル事項

第三條 第二類ノ市場ヲ開設セントスルモノハ左ノ各項ヲ列記シ所轄郡役所ニ出願許可ヲ受クヘシ

第一項 市場ノ位置

第二項 賣品ノ種類

第三項 開市ノ日限及時限

第四項 口錢又ハ手数料等ノ定額

第四條 第一類ノ市場ニ於テ臨時日限ヲ伸縮セントスルキハ所轄郡役所ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 郡役所ニ於テ第三條及第四條ノ許可ヲ與ヘタルキハ其旨縣廳ニ報告スヘシ

第六條 第二條第三條第四條ノ許可ヲ得タルキハ其旨所轄警察署若クハ分署ヘ届出ツヘシ

但シ時宜ニヨリ一郡一ヶ所ニ限リ第二類市場ノ設置ヲ許可スルコトアルヘシ

第七條 第一類ノ市場ニ於テ役員ノ選舉ヲナシタルキハ其人名ヲ縣廳及所轄警察署若クハ分署ヘ届出

ツヘシ

第八條 同町村若クハ隣接町村ニ於テ賣品ヲ同フシ且同性質ノ市場ヲ開設セントスルキハ可成規程ヲ

一定シ既設市場願人ノ連署ヲ以テ出願スヘシ若シ之レカ連署ヲ拒ムキハ其事由書ヲ添付スヘシ

第九條 第一類ノ市場ニ於テハ物品販賣上ノ景況及賣上金高口錢手数料等ノ明細表ヲ製シ翌月五日限

縣廳ニ上申スヘシ

但第二類ノ市場ニ於テハ閉場後五日以内ニ本文ニ準シ上申スヘシ

第十條 牛馬市場規則ハ別ニ之レヲ定ム

○甲第七拾六號 五月廿四日

(廿四年縣令第九號ヲ以テ改定セラル)

○甲第八拾壹號 五月廿九日

明治拾四年拾二月乙第百八十三號布達中所轄郡役所ヲ所轄警察署ト改正ス (但本文更正濟)

○甲第八拾三號 六月三日

瘋癲人ヲ私宅ニ鎖鋼セントスルキハ親族若シクハ故舊其病情ノ模様其他拘禁ヲ要スヘキ事實等詳細記載シ所轄警察署又ハ分署へ出願許可ヲ受ツヘシ

但解鎖シタルキハ其旨所轄警察署又ハ分署ニ届出ヘシ

○甲第九拾八號 七月二日

明治拾貳年^六乙第百六號中追加ノ件 (訂正濟)

○甲第百號 七月十三日

(廿四年^六縣令第五號ヲ以テ改正ス)

○縣令甲第九號 八月廿五日

明治拾五年^九本縣甲第百貳拾貳號中追加ノ件 (訂正濟)

○縣令甲第拾貳號 九月二日

西筑摩郡一圓(全郡奈賀井村 餘川村ヲ除ク)南安曇郡安曇村上伊那郡宮田村下伊那郡上飯田村喬木村神稻村伍和村出原村伐木出材手續別紙ノ通り定ム

伐木出材手續

第一條 山林ヲ伐採セントスルモノハ私林共有林ヲ問ハス伐採着手前第一號書式ニ據リ木曾大林區署又ハ同署安曇派出所へ届出ツヘシ

第二條 木品ヲ運送セントスルモノハ運送着手前第二號書式ニ據リ木曾大林區署又ハ同署安曇派出所へ届出ツヘシ

但薪炭用ニ供スルモノハ此限ニアラス

第三條 木品運送届書ニハ木種木品及ヒ運送高運送期日運送先地名人名ヲ詳記シ私林共有林伐採ニ係ルモノハ第壹號書式届書寫官林拂下ニ係ルモノハ拂下指令寫買得ニ係ルモノハ第三號書式賣主ノ證

明書ヲ添フヘシ

但木種其他豫メ見込難相立場合ニ於テハ概略見積リヲ以テ届出置追テ確定ノ上其増減更ニ届出ヘシ

第四條 木品運送ノ際第二條届書ト不突合ナルカ又ハ不正品ト認ムルキハ木曾大林區署員又ハ同署安曇派出所ニ於テ其出所ヲ取糺スヲアルヘシ

第五條 木曾官林接續ノ場所ニ於テ伐採ニ係ル境町檢査ノ手續ハ従前ノ例ニ依ルモノトス

第一號書式

伐木御届

何郡村字何山反別何町反步

一何木何本

右本村共有林(私所有林)來ル何月何日ヨリ凡何日間ノ見込ヲ以テ伐採着手仕候間此段及御届候也

何郡村(何耕地)

年月日

何 之 誰 印

木曾大林區署(又ハ安曇派出所)

御 中

第二號書式

出材御届

一何木(種)木(品)木

(何本)(何個)(何間)

右ハ何郡村字何(官林御拂下木品)(共有山ニ於テ伐採セル木品)(山ニ於テ伐採木品何ノ雜ヨリ買取)來

十九年度達

三百五十九

ル何月日ヨリ何郡村何之誰へ運送仕候間別紙(官林木御拂下指令寫)(伐木御届書寫)(賣主證明書)相綴
此段及御届候也

年月日

木曾大林區署(又ハ安曇派出所)

第三號書式

御 中

賣渡木品證明書

一何木(種)(木)(品)(木)

(何本)(何個)(何間)

右何郡何村字何山ニ於テ何年何月日伐採セル木品今般何之誰へ賣渡候儀相違無之候此段證明候也

何國何郡村(耕地)

年月日

何 之 誰印

○縣令甲第拾九號 九年三十日

本縣令公布式及施行期限左ノ通相定ム

一 本縣令ハ郡役所及戶長役場ノ門前ニ揭示シ及信濃毎日新聞ニ登載スルヲ以テ公布式ト相定ム

二 本縣令ハ到達ノ日ヨリ七日ヲ以テ施行ノ期限トナス

但特ニ施行期日ヲ掲ケタルモノハ此例ニ依ラス

○縣令甲第貳拾貳號 十月廿日

(廿三年十一月)縣令七拾三號ニヨリ消滅ス)

○縣令甲第貳拾七號 十一月十日

文部省令十二號小學校教員免許規則第十六條ニ基キ小學校教員學力檢定試驗細則ヲ定ムルコト左ノ如

シ
小學校教員檢定試驗細則

第一條 小學校教員學力檢定試驗ハ毎年五月本縣師範學校内ニ試驗場ヲ開キ試驗委員ヲシテ之ヲ執行
セシム

但當月一日(日曜日ナレハ次日)ヨリ概テ十日間ニ試了スルモノトス

第二條 試驗ヲ請フモノハ毎年四月廿日迄ニ縣廳到達ノ日積リヲ以テ郡役所ヲ經由願書并ニ履歷書ヲ

差出シ試驗ノ初日午前第九時ヲ限リ試驗場ニ出頭スヘシ

第三條 前條出願人ハ手数料金壹圓ヲ願書ニ添テ納ムヘシ

第四條 試驗合格ノ者ニハ免許狀ヲ交付ス此場合ニ於テハ手数料金五拾錢ヲ納メ又其書換ヲ請フトキ

ハ金貳拾五錢ヲ納ムヘシ

第五條 本人ノ都合ニ依リ試驗ニ欠席シ又ハ免許狀ヲ還納スルモ既取ノ手数料ハ之ヲ還付セサルモノ

トス

第六條 免許狀有効ノ期滿ルトキハ履歷書ヲ添へ郡役所ヲ經テ縣廳へ届出ツヘシ

試驗願書式

小學校教員學力試驗願

某儀御管内小學校教員志願ニ付學力御試驗ノ上(何學科)免許狀御授與被成下度手数料相添此段奉願
候也

族籍

年月日

氏

名印

十九年度達

三百六十一

長野縣知事宛

前書之通願出候ニ付本人品行上取調候處不都合之廉無之ニ付奥印仕候也

戸、長 印

履歷書々式

履歷書

族籍誰子弟

本籍何縣何國何郡何町村住

氏

名

印

(寄留ナレハ寄留地ヲモ記スヘシ)

何年何月生

一何年何月ヨリ何某ニ就キ何學科修業

一何年何月何所ニ於テ何々卒業

一何年何月何所何々ノ證書ヲ得ル

一賞罰

以上

○縣令甲第貳拾八號 十一月十一日

當縣土工條規別冊之通相定ム

長野縣土工條規

第一條 左ニ掲クル道路ニ橋梁之 河川ノ工費ハ地方税ノ負擔トス

道路之部

東京ヨリ神戸港ニ達スル國道別線路 追分驛ヨリ馬籠驛美濃國界マテ

東京ヨリ新潟港ニ達スル國道第五號線路 上野國界ヨリ越後國界マテ

第壹號縣道谷街道 國道線中屋代ヨリ分レ松代須坂中野飯山ヲ經テ新潟縣管轄境ニ至ル

第貳號同直江津街道

壹號線中飯山ヨリ分レ富倉ヲ經テ新潟縣管轄境ニ至ル

第三號同前橋街道

國道線中新町ヨリ分レ淺野中野湯田中ヲ經テ群馬縣管轄境ニ至ル

第四號同西街道

國道線中篠野井ヨリ分レ松本郷原ヲ經テ洗馬ニ至リ國道ニ合ス

第五號同大町街道

國道線中長野ヨリ起リ南長野ニ分レ笹平竹生千見ヲ經テ大町ニ至ル

第六號同糸魚川街道

四號線松本ヨリ分レ池田大町千國來馬等ヲ經テ新潟縣管轄境ニ至ル

第七號同保福寺街道

四號線中岡田ヨリ分レ保福寺浦野ヲ經テ常盤城村ニテ國道ニ合ス

第八號同野麥街道

四號線中松本ヨリ分レ島々寄合渡等ヲ經テ岐阜縣管轄境ニ至ル

第九號同甲州街道

國道線中小諸ヨリ分レ岩村田野澤海尻平澤ヲ經テ山梨縣管轄境ニ至ル

第十號同武州街道

拾壹號線中下中込ヨリ分レ大日向ヲ經テ群馬縣管轄境ニ至ル

第十壹號同富岡街道

九號線中野澤ヨリ起リ下中込ニテ分レ内山ヲ經テ群馬縣管轄境ニ至ル

第十貳號同甲州街道

國道線中下諏訪ヨリ起リ原新田ニテ分レ鹽尻飯田根羽等ヲ經テ愛知縣管轄境ニ至ル

第十參號同三州街道

四號線中村井ヨリ起リ原新田ニテ分レ鹽尻飯田根羽等ヲ經テ愛知縣管轄境ニ至ル

第十肆號同大平街道

拾三號線中飯田ヨリ分レ大平ヲ經テ妻籠ニ至リ國道ニ合ス

第十伍號同岡谷街道

拾三號線中松島ヨリ分レ平出岡谷ヲ經テ長地村ニテ國道ニ合シ下諏訪ニ至ル

第十陸號同遠州街道

拾三號線中飯田ヨリ分レ下川路田上新野ヲ經テ愛知縣管轄境ニ至ル

第十柒號同岐阜街道

拾三號線中根羽ヨリ分レ愛知縣管轄境ニ至ル

第十捌號同妻科街道

國道線中長野標柱ヨリ分レ妻科ヲ經テ南長野ニ至リ國道ニ合ス

號外縣道須坂街道

國道線中長野ヨリ起リ吉田ニテ分レ小山ニテ一號線ニ合シ須坂ニ至ル

號外同新町街道

六號線中篠野井ヨリ分レ田ノ口ヲ經テ新町ニ至ル

號外同諏訪街道

國道線中上田ヨリ起リ大屋ニテ分レ長久保ニ至リ國道ニ合ス

十九年度達

號外同權兵衛街道 國道線中宮越ヨリ分レ伊那高遠栗田ヲ經テ金澤ニ至リ拾六號線ニ合ス
 號外同松代街道 國道線中丹波島ヨリ分レ松代ニ至リ一號線ニ合シ同所ニ至ル
 號外同秋葉街道 拾六號線松尾村ヨリ分レ青崩峠ヲ經テ静岡縣管轄境ニ至ル

河川之部

千曲川 南佐久郡海ノ口村地内字湯澤以下
 鹿曲川 北佐久郡望月町地内字八丁堀越川落合以下
 依田川 小縣郡腰越村地内字筆岩以下
 滑津川 南佐久郡中込村地内字中津橋以下
 天龍川 諏訪郡平野村地内字釜口以下
 松川 根羽街道ヨリ五町上ヨリ以下
 中太切川 縣道以下
 上川 諏訪郡前澤村字裏岩以下
 三峯川 高遠以下
 犀川 梓川落合以下
 梓川 東筑摩郡波多村地内字赤松以下
 穗高川 南安曇郡東穗高村鳥川落合以下
 奈良井川 東筑摩郡奈良井村字町裏以下
 薄川 東筑摩郡里山邊村字八流以下
 女鳥羽川 東筑摩郡原村地内字平村以下
 裾花川 上水内郡中御所村地内字白岩以下

高瀬川

釜無川

木曾川

第二條 前條ニ掲ケサル道路河川ノ工費ハ關係町村組耕地等一部落ニ屬スルモノ之ニ含有スノ負擔トシ其内左ニ掲クル道路河川ハ其工費ノ半額以内ヲ地方税ヨリ補助スルモノトス

道路ノ部

道路ハ暫ク之ヲ欠ク

河川ノ部

千曲川 北安曇郡平村地内鹿島川落合以下
 大石川 訪諏郡落合村地内字机以下
 滑津川 西筑摩郡藪原村鳥居峠ノ麓ヨリ以下
 浦野川 東筑摩郡奈良井村字町裏以下
 鹿曲川 東筑摩郡里山邊村字八流以下
 依田川 東筑摩郡原村地内字平村以下
 湯川 上水内郡中御所村地内字白岩以下
 神川 上水内郡中御所村地内字白岩以下
 關川 上水内郡中御所村地内字白岩以下
 淺川 上水内郡中御所村地内字白岩以下
 松川 上水内郡中御所村地内字白岩以下
 市川 上水内郡中御所村地内字白岩以下

南佐久郡海ノ口村地内字湯澤以上
 南佐久郡下中込村地内字中津橋以上
 北佐久郡望月町地内字八丁越川落合以上
 小縣郡腰越村地内字筆岩以上

保科川
 夜間瀬川
 横湯川
 樽川
 以上千曲川流域
 松川
 中太切川
 上川
 三峰川
 前澤川
 横河川
 小黒川
 小澤川
 蛇川
 鹿鹽川
 小澁川
 遠山川
 小川
 宮川
 戸川

根羽街道ヨリ五町上ヨリ以上
 縣道以上
 諏訪郡前澤村字裏岩以上
 高遠以上

以上天龍川流域

粹川
 高瀬川
 穗高川
 鳥川
 奈良井川
 薄川
 田川
 女鳥羽川
 裾花川
 佐野川
 松川
 平川
 牛伏川
 以上厚川流域
 木曾川
 八澤川
 王瀧川
 以上木曾川流域
 釜無川

東筑摩郡波多村地内字赤松以上
 北安曇郡平村地内鹿島川落合以上
 南安曇郡東穂高村鳥川落合以上
 東筑摩郡奈良井村字町裏以上
 東筑摩郡里山邊村字八流以上
 上水内郡中御所村字白岩以上

西筑摩郡藪原村鳥居畔ノ麓ヨリ上流

諏訪郡落合村地内字机下以上

十九年度達

姬川

以上

第三條 井堰溜池用悪水路等ニ係ル工費ハ舊慣ニ依リ關係者ノ負擔トス

第四條 國縣道ニ屬スル用悪水路ニ架スル橋梁ハ總テ地方税ヲ以テ支辨シ其他里道等ニ屬スルモノハ舊慣ニヨルモノトス

第五條 負擔ノ同シカラサル道路河溝等相並行シ其中間ニ介在セル岸崖等ニ破損ヲ來セシトキ其修繕費ハ先ツ其破損ノ原因ヲ調査シテ其負擔ヲ定メ原因明カナラサルモノハ各其半ヲ負擔スルモノトス

第六條 地方税負擔ノ場所ト雖モ特ニ町村限ノ便利ヲ以テ起スル工費ハ之ヲ企圖セシ町村ノ負擔トス

第七條 公共ノ便利ヲ興起シ或ハ地方税經濟ノ場所ニ大ナル關係ヲ及ホスヘキ工事ニシテ當廳ノ計畫ニ出タルモノハ單ニ町村負擔ノ場所ト雖モ地方税ヲ以テ負擔シ或ハ地方税町村費等ト連帶支辨ヲナスコアルヘシ

第八條 地方税ヲ以テ支辨スル工事ハ總テ當廳ニ於テ計畫ス其連帶支辨ニ屬スルモノ亦同シ

第九條 町村費地方税補助ヲ受ルモノモ亦之ニ屬スルヲ以テ支辨スル工事ハ總テ戸長及管理者水利土功會ニ係ル分ニ於テ計畫スヘシ其協議費ト連帶支辨ノモノモ亦同シ

第十條 協議費ヲ以テ支辨スル工事ハ總代人ヲ撰ヒ之ヲ擔掌セシムヘシ其地方税及町村費ト連帶支辨ニ屬スルモノト雖モ其工事ノ施爲ニ限り擔掌セシムルコアルヘシ

第十一條 町村費及協議費ヲ以テ施爲スル工事ニシテ新設又ハ改良固形ヲ變換シ位置ヲ轉スル等ヲ云フニ屬スルモノハ當廳其通常修繕ニ止マルモノハ郡役所ノ許可ヲ得ルニ非レハ起スルヲ得ス

但用悪水路ニシテ修繕ニ止マルモノハ此限ニ非ス

第十二條 前條ノ場合ニ於テ新設又ハ改良ニ屬スルモノハ關係町村地元及上下流對岸ニ協議シ該戸長ノ承認書ノハ意見書且潰地アルモノハ潰地明細書及圖面仕様帳目論見帳等ヲ願書ニ添付スヘシ

第十三條 當廳ニ於テ計畫スル工事ニ對シ關係町村ハ其便否ヲ以テ之ヲ妨クルコトヲ得ス

第十四條 新ニ渡津ヲ設ケ渡錢ヲ徵收セントスルハ圖面取調書及賃錢表ヲ添へ出願スヘシ

但渡錢ヲ要セサルモノト雖モ第一條第二條ノ河川ニ屬スルモノハ圖面ヲ添へ出願スヘシ

第十五條 地方税負擔ノ河川ト雖モ洪水ノ際堤防又ハ耕宅地等ヲ防禦スル爲メ要スル所ノ費用ハ都テ其町村又ハ關係者ノ負擔トス

但其關係重大ニ涉リ特ニ防禦ヲ爲サシメタルハ其成跡ニ由リ地方税ヨリ其幾部ヲ補助スルコトアルヘシ

第十六條 工事ノ爲メ木石其他ノ物品ヲ入札拂ニ付シタルハ其代金ハ當初支出ノ性質ニ拘ハラヌ現工費負擔額ノ比例ニ依リ之ヲ分付スルモノトス

但寄付金ハ此限ニ非ス

第十七條 地方税ヨリ支出スル工費ハ郡役所へ請求スヘシ尤モ其請求ハ遅クモ翌年度五月三十一日迄ニ差出サレハ一切之ニ應セサルヘシ

但特ニ指揮ヲ受ケタルモノハ此限ニ非ス

第十八條 連帶支辨ニ屬スル工費ハ工事ヲ施爲スルモノ之ヲ取纏ムルモノトス

第十九條 地方税ヲ以テ施爲スル工事ニシテ之ニ要スル職工人夫ヲ一定ノ賃錢ニテ傭入レ又ハ物品ヲ相當代價ヲ以テ買入レンコト命スルハ關係町村ハ必ス之ヲ處辨スヘシ

第二十條 地方税負擔及當廳ノ許可ヲ得タル工事ノ創竣及中止ハ左ノ期限内ニ受負者又ハ擔當者ヨリ

十九年度達

届出スヘシ

- 一 創掘再着手ハ 其當日
- 二 中止ハ 其當日ヨリ四日間 工費精算帳及償地アルモノハ現償地一筆限帳ヲ添付スヘシ
- 三 竣成ハ 其當日ヨリ十日間 工費精算帳ヲ添付スヘシ

第廿一條 前條ノ工事ニシテ壹ヶ月以上ニ渉ルキハ毎月末事業ノ景況ヲ報告スヘシ

第廿二條 興業殖産或ハ交通ノ便利ヲ助クル等地方一般若クハ數町村ノ公益ヲ謀リ新ニ開道架橋又ハ水行ヲ疏シ航路ヲ開ク等ノ工事ヲ爲シ其工費ヲ償却スル爲メ貸錢ヲ通行人等ヨリ徵收セントスルモノハ許可スルヲアルヘシ此場合ニ於テハ左ノ圖書ヲ添付スルモノトス

- 一 工事ヨリ生スル効益ヲ詳悉セシ取調書
- 二 起業者ノ財産
- 三 工事仕様帳
- 四 工費目論見帳 一位價 通計
- 五 實測圖 横断面 縦断面 平面見取圖
- 六 貸錢明細表
- 七 工費消却ノ方法
- 八 期限中維持法
- 九 諸契約書

第廿三條 前條ノ許可ヲ得タルモノハ日計簿ヲ製シ一ケ年毎ニ精算書ヲ差出スヘシ但事宜ニ依リ吏員ヲ派シ賃錢ノ揚高ヲ勘査セシムルヲアルヘシ此場合ニハ日計簿ヲ出シ認印ヲ受ケ置クヘシ

通行者一日ノ豫算徵收ノ期限地元
町村ノ人民ヨリ賃錢ノ徵否等
修繕ノ方法 橋梁等ハ一時修繕出來迄ノ方法
(渡舟ノ數、舟子ノ數、川越人夫ノ數等)
工事ニ就キ他ノ道渡等ニ關係スルキハ其關係者トシテ契約書等ヲ添付ス

第廿四條 賃錢ヲ徵收スル橋梁渡船アル場所ニハ其受負者ヨリ必ス水量標ヲ建設シ帳簿ヲ製シ毎日一回其水位ヲ記入スヘシ

第廿五條 賃錢ヲ要スル渡橋ニテ賃錢表ニ明文ナキモノハ貳拾貫目未満ハ賃錢ヲ徵收スルヲ得ス貳拾貫目以上五拾貫目マテハ一人分ヲ徵シ以上五拾貫目毎ニ一人分ヲ遞加スルヲ得

第廿六條 前條ノ例ヲ用ヒス更ニ賃錢課目ヲ増加セントスルキハ消却方法ニ更正ヲ加ヘ申出ツヘシ

第廿七條 橋梁流落ノ際出スヘキ渡船及川越人夫ノ賃錢ハ既ニ許可セタル橋錢ヨリ増加スルヲ許サス

第廿八條 本條規ノ詳悉スヘカラサル細目及取扱手續等ハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

○縣令甲第貳拾九號 十一月十一日

明治拾六年本縣乙第百拾三號巡查召募規則左ノ通改定ス

巡查召募規則

第壹條 巡查ハ試験ノ上採用スルモノトス

但陸軍現役滿期下士ノ者ハ學術試験ヲ要セス

第貳條 巡查ハ年齢滿廿年以上四拾五年以下ノモノニシテ奉職五ケ年間ノ誓約ヲナシ得ルモノニ限ル

第三條 試験ハ体格技藝ノ貳種トシ左ノ項目ニ據ル

一 体格 身幹五尺以上ノ者 強壯ニシテ欠所ナキ者

一 技藝 (法律) 刑法治罪法警察法規
(規則) 本邦歴史及地理
(地理) 本邦歴史及地理

(作文) 假名交リ論文又ハ普通書牘文
(算術) 加減乘除 (寫字) 楷行書

第四條 左ノ事項ニ抵觸スルモノハ採用セス

一 新法ニ據リ重禁錮以上ニ處セラレタル者若シクハ全上ノ刑ニ處セラルヘキ罪ヲ犯シ單ニ監視ニ附セラレタルモノ及輕禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期后五年ヲ經過セサル者但舊法ニ依リ刑ニ處セラレタルモノハ總テ本文ノ權衡ニ準ス

一 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

一 巡查懲罰例又ハ官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ二年以上ヲ經過セサル者及誓約期限内ニ退職セントシテ免職セラレタル者亦同シ

一 身分不相應ノ負債アル者又ハ身代限りノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ハラサルモノ

一 酒癖又ハ暴行ノ癖アルモノ

第五條 巡查ヲ志願スルモノハ別紙書式ニ準シ其志願書ニ誓約書履歷書ヲ添へ出願スヘシ

第六條 試験上不合格ノ者ハ四ヶ月ノ後ニアラサレハ再願スルヲ得ス

別紙 書式(用紙半紙)

巡查志願書

何府 何國 何郡 何村 何番地 華士 族 平民
何某 何男(又ハ戶主)

何 某
年 號 月 日 生
何 年 何 月

右ハ當縣巡查奉職仕度候ニ付御試驗被成下度此段奉願候也

年月日

何 某 印

長野縣知事何某殿 誓約書 (用紙全上)

今般巡查志願致候御採用相成候上ハ左ノ事項確守可致候

- 一 職務ノ規則及上官ノ命令ヲ遵守スルヲ
- 一 滿五ヶ年間ニ辭職セサルヲ
- 一 職務上權外ノ事ヲ議論セサルヲ
- 一 濫リニ負債ヲ爲サハルヲ
- 一 飲酒ニ耽リ又ハ遊惰放蕩ヲナサハルヲ

何府 何國 何郡 何村 何番地 華士 族 平民

何 某
年 號 月 日 生

右

何 某 印

縣知事宛 履歷書 (用紙全上)

何府 何國 何郡 何村 何番地 華士 族 平民

何 某
年 月 日 生

明治年月日 一何々申付候事

何 省 廳

十九年度達

月俸何々

明治年月日

一何々ヲ命ス

月俸何々

明治年月日

一任何々

明治年月日

一叙何々

明治年月日

一免本官

明治年月日

一何々ニ付賞罰

右之通御座候也

何府縣

何々

何々

何々

何々

何 某印

右

年月日

十一月十三日

○縣令甲第三拾號

勅令第十四號小學校令第四條ニ基キ學齡兒童就學規則ヲ定ムルコト別冊ノ如シ

學齡兒童就學規則

第一條 凡ソ兒童ノ翌年三月三十一日迄ニ學齡ニ入ルヘキモノアルトキハ父母若クハ後見人等ハ本人ノ氏名族籍誕生ノ年月日及就學セシムヘキ小學校ヲ記載シ其年十二月廿八日迄ニ兒童現住地ノ戶長

ニ届出ヘシ

但小學校ニ入レス家庭ニ於テ就學セシメントスルトキハ其事由ヲ記載シテ本文同様届出ヘシ

第二條 前條翌年三月三十一日迄ニ學齡ニ入ルヘキ兒童ニシテ就學セシムルコト能ハサルトキハ父母

若クハ後見人等ハ本人ノ氏名族籍誕生ノ年月日及就學セシムルコト能ハサル事由并ニ其期限ヲ記載

シ郡長ニ宛タル猶豫ノ願書ヲ第一條ノ期日迄ニ戶長役場ニ差出スヘシ

第三條 前條就學猶豫相當ト認ムヘキモノ凡ソ左ノ如シ

一 癱疾ノ者

一 身体ノ發育其度ニ適セサル者

一 疾病ニ罹リ速ニ治療ノ目的ナキ者

一 兒童其力ニヨリテ生活スル者

一 一家貧乏ノ者

第四條 就學猶豫ノ許可ヲ得タルモノト雖モ其期限内ニ於テ就學セシムルコトヲ得ヘキ場合ニ至リタ

ルトキハ父母若クハ後見人等ヨリ其就學セシムヘキ小學校ヲ記載シテ戶長ニ届出ヘシ

第五條 就學猶豫ノ許可ヲ得タルモノニシテ滿期ノ後直チニ就學セシムルモノハ父母若クハ後見人等

ヨリ其就學セシムヘキ小學校ヲ記載シ戶長ニ届出ヘク又直チニ就學セシムルコト能ハサル者ハ第二

條ノ手續ニ依リ更ニ猶豫ヲ願出ヘシ

第六條 兒童就學ノ後未タ尋常小學校ヲ卒業スシテ一ケ年以上就學セシムルコト能ハサル場合アルト

キハ父母若クハ後見人等ハ第二條ノ手續ニ依リ猶豫ヲ願出ヘシ

第七條 未タ尋常小學校ヲ卒業サル學齡兒童ノ他ノ學區ニ轉住スルトキハ父母若クハ後見人等ヨリ其

旨ヲ兒童現住地ノ戶長ニ届出學齡送籍書ヲ得テ之ヲ轉住地ノ戶長ニ届出ヘシ

十九年度達

三百七十五

第八條 未ダ尋常小學科ヲ卒業サル學齡兒童ノ他管ヨリ轉住シタルトキハ父母若クハ後見人等ヨリ其

就學セシムルモノハ第一條ニ就學セシムルコト能ハサルモノハ第二條ニ準シ十五日間以内ニ届書又

ハ願書ヲ差出スヘシ

○縣令甲第三拾壹號 十一月廿日

明治十七年六月本縣第五拾五號中更正削除ノ件 (訂正濟)

○縣令甲第三拾八號 十二月六日

明治十七年二月甲第三拾六號刪除改正ノ件 (訂正濟)

○縣令甲第四拾四號 十二月十五日

學齡兒童ヲ小學校ニ入レス家庭ニ於テ教授セント欲スルモノハ其旨記載シ本人履歷書添付戸長役場ヲ

經テ郡長へ願出認可ヲ受クヘシ

但シ出願人ハ小學簡易科以上ノ教員免許狀ヲ有スル者若クハ之ニ相當スル學力ヲ有スル者ニ限ルヘ

シ

○縣令第五拾號 十二月十七日

海軍下士卒(除ク)戸籍上異動アルルハ其都度戸主又ハ親族ヨリ戸長ニ差出シ戸長ハ之ニ契書證印シ郡

役所ヲ經テ當廳へ差出スヘシ

但本年乙第二拾號達結婚ノ儀ハ此限リニアラス

○乙第三號 一月九日

客年乙第三百三十三號達官報公報刪除ノ件 (訂正濟)

○乙第六號 一月十二日

郡役所 戸長役場

郡役所 戸長役場

郡役所 戸長役場

明治十九年四月以降町村立小學校ニ於テハ授課料ヲ徵收スヘキモノトス其額ハ生徒壹人壹ケ年金壹錢

以上金三拾錢以下ニ付戸長ニ於テ各校適宜相定メ郡役所ヲ經テ本縣ニ届出ツヘシ

○乙第七號 一月十三日

土地ニ賦課スル町村費制限公布相成候ニ付テハ明治十九年度以降其賦課ハ戸長役場所轄區域ニ涉ル町

村費ヲ先キニシ尙制限ニ滿タスシテ其他ノ費用ヲ賦課セントスルルハ毎町限ノ町村費及其他ノ費用ヲ

賦課スル様取計フヘシ

○乙第三拾五號 三月四日

明治拾七年乙第百廿八號追加ノ件 (訂正濟)

○乙第三拾六號 三月六日

明治十八年本縣乙第三十九號達戸長役場事務條例中第八號書式町村費收納原簿ニ據リ別冊ノ通改正

候條此旨相達候事

表紙離形

何町(村)	何年度町(村)費收納原簿	何郡
		何町(村)戸長役場

凡例

一町村費收納原簿ハ内山紙ヲ以テ毎町村之ヲ編製スヘシ

十九年度達

一左ノ各例ニ依ヒ先總地價總反別其他ノ總計及收納總計金ヲ書載次ニ各科目ノ算出目安ヲ書載シ而シテ號ヲ追ヒ人別收納簿ヲ調製スヘシ

一收納切符ハ左ノ例ニ依ヒ内山紙ハツ切ヲ以テ調製シ每期徵收ニ先チ配付シ收納期日必ス切符ヲ持參納入セシメ其切符ニ右年月日領收スト記入役場長形印ヲ以テ人別收納簿當期金額へ割印ヲナシ且右取扱タルモノ必ス認印スヘシ

一本簿編製ノ後收納金額ニ増減ヲ生シタルトキハ其事由ヲ人別收納原簿増減事由欄内ニ式ノ如ク書載シノ取扱タルモノ而シテ當期ノ收納金額ヲ書載スヘシ

一當期納入金ノ内納ヲナシタルキハ收納原簿當期金額欄内及收納切符計金ノ次ニ内書トシ金若干年月日領收スト書載認印スヘシ（役場制印ハ第三項ノ例ニ依ルヘシ）

一每期其納期ヲ定メタルトキハ一町村徵收總計金内書第何期ノ下ニ其年月日ヲ書載スヘシ

一每年度町村費算出目安ハ第壹期收納切符交付ノ際揭示公告スヘシ

但戸別又ハ營業等級割ニシテ若シ其等級數多ナルキハ自何等至何等ト書載シ金額ヲ略スヘシ

一本原簿ハ永ク存保スヘキモノトス

町(村)地價反別其他總計及徵收總計金書載ノ例

- 總地價金何程
- 此徵收金何程
- 總反別何程
- 此徵收金何程
- 總戶別何程
- 此徵收金何程

全等級

- 內
- 壹等何程
- 此徵收金何程
- 何等、
- 此、
- 總建坪何程
- 此徵收金何程
- 營業
- 壹等何程
- 此徵收金何程
- 何等、
- 此、

- 徵收
- 總計金何程
- 內
- 第壹期

本簿編製ノ后地價反別其他異動ヲ生シ當期ノ徵收額總計金四分之一ノ金額ニ充テサル片ハ其事由（例令ハ何年月日地價又ハ建坪何程増減ニ付當期徵收何程増減ノ類）ヲ詳記シ其計算ノ相違ナキヲ明示シ而シテ取扱タルモノ認印スヘシ

金何程	
第貳期	
金	
第	
第	
算出目安ノ例	
町村費算出目安	
地價割百圓ニ付	何錢何厘
内	
役場區域費	何錢何厘
町(村)費	
學區域費	
水利土功區域費	
何々費	
役場區域内敷町村又ハ區域外ニ涉ル聯合會安ノ類	
反別割一反歩ニ付何錢何厘	
内	

役場區域費	何錢何厘
戶別割	
内	
平均割一戸ニ付	何錢何厘
等級割	
内	
壹等	何錢何厘
何等	
建坪割壹坪ニ付	何錢何厘
營業割	
内	
壹等	何錢何厘
何等	
十九年度達	何錢何厘

人別收納原簿ノ例 料紙内山紙

印章ハ朱

第 何 號				第 壹 期	第 貳 期	第 三 期	第 四 期	地 價 割	反 別 割	戸 數 割	全 等 級 割	全 建 坪 割	營 業 割	何年度 町村費 收納合金、
地	價	割	割											
				○ 取扱タルモ ノ認印ス	○ 取扱タルモノ 認印ス	○ 取扱タルモノ 認印ス	○ 取扱タルモノ 認印ス							
										由事ノ減増期毎 地價割増(減) 第何期金、 反別割増(減) 第何期金、				
										(何町村)他町村入作ノモノ ニ據リ肩書スヘシ 何 某				
										(何町村) 何 某				

十九年度達

三百八十三

第 何 號				第 壹 期	第 貳 期	第 三 期	第 四 期	何年度 町村費 收納合金、
地	價	割	割					
				金、				
由事ノ減増期毎 建坪割増(減) 第何期金、								
年何號 何年度町(村)費何期分 何町村 某 納期年月日 右年月日領收ス 印章ハ朱 取扱タルモノノ認 印ス 役場 何町(村)戸長 年月日								
料紙内山紙 紙八切 收納切符ノ例 本行ハ領收ノ 上書載スヘシ								

○乙第四拾貳號

三月十五日

郡役所

戸長役場

道路橋梁渡津ニ於テ警部巡查及看守長看守押丁等制服着用ノ節並護送ノ囚徒ハ自他府縣ノ差別ナク都テ賃錢請求相不成候條該營業者ヘ示達スヘシ

○乙第四拾六號

三月十八日

郡役所

戸長役場

戸長役場會計規程別冊之通相定候條此旨相達候事

戸長役場會計規程

第一條 町村戸長役場ニ屬スル金錢物品等ハ總テ本規程ニ從ヒ各種各別トシ戸長之ヲ掌理管守スヘシ

第二條 會計ハ其年四月一日ヨリ起リ翌年三月三十一日ニ終ル之ヲ一周年度トス

第三條 戸長以下給料旅費ハ年額ヲ十二分シ一ヶ月乃至三ヶ月分郡役所ヲ經テ交付スルモノトス

第四條 戸長以下給料ハ月割ヲ以テ支給シ其任免ニ係ルモノアルキハ總テ官吏月俸規則ニ照準支給スルモノトス

第五條 戸長以下旅費及滞在日當ハ別ニ定ムル規則ニ依リ支給スルモノトス

第六條 町村戸長役場ニ於テハ第一號書式ノ如ク日計簿ヲ調製シ戸長以下給料旅費及地方税其他諸受入又ハ諸支拂等ニ係ル金錢ハ其都度其員數ノ多少ニ拘ハラズ詳記スヘシ

第七條 町村費受拂ハ第二號書式ノ如ク町村費收支内譯簿ヲ調製シ其都度詳記スヘシ

第八條 戸長以下給料旅費ハ會計年度ヲ四期ニ分チ(第一期ハ其年四月ヨリ六月迄第二期ハ七月ヨリ九月迄第三期ハ十月ヨリ十二月迄第四期ハ翌年一月ヨリ三月迄)第三號書式ノ如ク給料旅費精算帳並ニ全明細表ヲ調製シ每期翌月五日第四期ハ翌年度四月限り郡役所ヲ經由シ縣廳ヘ差出スヘシ

第九條 町村費決算ハ每會計年度第四號書式ノ如ク決算帳ヲ調製シ翌年四月限り郡役所ヘ差出スヘシ

第十條 地方税及町村費收納原簿全切符等ハ各其取扱方別段ノ達アリト雖モ日計簿及町村費收支内譯簿等ニ記入ノ手續ハ式ニ依リ遺漏ナク書載スヘシ

第十一條 地方税及町村費納納ハ第五號書式ノ如ク息納者人別簿ヲ調製シ其息納額ヲ郡長ヘ申報シ又處分中收入處分濟收入等郡長ヨリ通報ヲ得タルキハ式ニ依リ其都度記載スヘシ

第十二條 戸長ハ日々日計簿ヲ檢閲シ受入又ハ拂出シタル金錢ト各科目ト對照シ而シテ每一旬ノ殘高ヲ第六號書式ノ如ク調製シ毎月末旬ノ分翌月五日限り郡役所ヘ差出スヘシ

第十三條 戸長ニ於テ管守スル土地家屋物品等ハ第七號書式ノ如ク財産原簿ヲ調製シ其現在高ヲ記シ毎月四日限り郡役所ヘ差出スヘシ

第十四條 凡金錢ノ支拂ハ地方税ト町村費ヲ區別シ地方税ニ係ルモノハ第八號書式ニ依リ領收證書ヲ徴シ郡役所ヘ差出スヘキ每期精算帳ニ添付シ町村費ニ係ルモノハ其都度正當領收證ヲ徴シ隨時照合檢閲ニ便ナラシムルヲ要ス

表紙雛形

何年度	日計簿
第壹號	郡町(村)外何ヶ町(村)戸長役場

凡例

一 現金

此部ハ受入支拂トモ都テ列記シ差引殘金ヲ日々現在金ト照合スル者トス而シテ後欄外ヘ各科目判ヲ捺シ毎課科目ノ坐ヘ移載シ差引殘高ヲ記スルモノトス

一 繰替拂

此部ハ一時ノ繰替金ヲ記入スルモノニシテ他ノ科目トハ記入ヲ反對シ繰替拂ヲナシタルトキハ受ノ區ヘ記入シ戻シ入ハ拂ノ區ヘ記入シ然シテ最初繰替ノ口ヘ赤字ヲ以テ願末ヲ記入スルモノトス

一 假拂

此部ハ支拂金額不定ナルハ概算渡ヲ假拂トナシ金額確定ノ上過ハ戻入不足ハ追拂ヲナスモノニシテ其記入方并願末記シ方等ニ至リテハ繰替ノ部ニ同シ

一 俸給及雜給

此部ハ別ニ勘定下組帳ヲ要スヘキ等ナレバ之ヲ畧シ欄外ヘ細科目判ヲ捺シ該科目ニ就テ精算帳ヲ調製スルモノトス

一日計簿以下諸帳簿ハ各年度毎ニ改造シ前年度完結迄ハ甲乙兩帳(甲ハ前年度乙ハ現年度)ヲ以テ取扱フヘシ尤モ繰替及一時取扱金ノ如キ年度ナキモノハ三月三十一日ノ殘高ヲ拂出シ現年度該部ヘ四月一日高トシテ受入ニ記入スルモノトス

一 假拂ハ四月一日以降ヘ精算ノ涉ルモノアリトモ前年度ニ屬スルモノハ据置精算ヲ了スルモノトス
 一 翌年度經費等ヲ前年度三月中受入タルトキハ翌年度新帳元受ニ記入ス可シ
 一 甲年度町村費定額殘金アレハ丙年度ヘ繰越スヘキモノニ付假ニ乙年度日計簿ヘ繰越置キ丙年度ニ至リ該費ヘ受入ルヘシ

目次	
一 現金	二丁 一 雜種稅 十五
一 繰替拂	七丁 一 雜收入 十六
一 假拂	八 一 公儲金 十七
一 俸給	九 一 一時取扱金 十八
一 雜給	十 一 町村費 十九
一 國庫雜收入	十一 一 何年度町村費越高 廿一
一 地租割	十二
一 戸數割	十三
一 營業稅	十四

十九年度達

地租割	入國庫雜收	繰替拂	假拂	町村費	年日月	事	由	受	拂	殘
同	同五日	同	同	明治何年 何月一日	町村費第何期何某外何人納	戶長何某出縣旅費假拂	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓
同	同	同	同	同	町村費第何期何某外何人納	行旅死亡人埋葬費繰替	行旅死亡人埋葬費繰替	拾	拾	千四百三十圓

三百八十九

月地租割	入國庫雜收	雜給	俸給	海防費	年日月	事	由	受	拂	殘
同	同	同	同	同	明治何年 何月一年	第何期分經費郡役所ヨリ受取但俸給	同 斷 雜 給	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	
同	同	同	同	同	同	同	同	百	百	

三百八十八

年月日	事由	由	受	拂	殘
明治何年 何月一日	第何期分 何某外何人納		百圓		百圓
同日	同斷ノ分 郡役所納			百圓	〇圓

地租	地割	地割	地割	地割	地割
戸地					
數租					
割割					

年月日	事由	由	受	拂	殘
明治何年 何月一日	官地貸下料 何月迄ノ分	何月ヨリ 何某納	五拾圓		五拾圓
同日	同斷ノ分郡役所納			五拾圓	〇圓

國庫雜收入					

年月日	事	由	受	拂	残
明治何年 何月一日	何金何某渡ノ分 何所ヨリ受取		二百圓	朱書拂 明治何年何月五日支拂	百圓
同	同斷ノ分 何某渡		百圓	同年同月二十日 支拂	三百圓
同五日	本月一日受入何金 何某渡ノ分同人渡			二百圓	百圓
同二十日	本月一日何金何 某渡ノ分同人渡			百圓	〇

一時取扱金					

年月日	事	由	受	拂	残
明治何年 何月一日	第何期分 何某外何人納		百圓	百圓	百圓
同五日	同斷ノ分 郡役所納			百圓	〇圓

公儲金					

年月日	事由	由	受	拂	殘
明治何年 何月十七日	本月分小使給 外二廉支拂			拾 圓	拾 圓
同三十一日	同上ノ内消耗品代過拂 ニ付戻入		一 圓		九 圓

戸長役場費					

年月日	事由	由	受	拂	殘
明治何月 何月十七日	本月分小使給外 二廉支拂			拾 圓	拾 圓
同三十一日	同上ノ分戸長役場費過 拂ニ付戻入		一 圓		九 圓

支拂總額					

十九年度達

					年月日
					事由
					由受
					拂
					殘

四百十九

					郵便税

					年月日
					事由
					由受
					拂
					殘

					印刷費(筆工料)

四百十八

十九年度達

					年月日
					事
					由
					受
					拂
					殘

四百二十五

					爲換手數料

年月日

事

由

受

拂

殘

					地租地方稅

四百二十四

十九年度達

					年月日
					事由
					由受
					拂
					殘

四百三十九

					災害豫防費

年月日

事

由

受

拂

殘

					何々

四百三十八

十九年度達

					年月日
					事
					由
					受
					拂
					殘

四百四十一

何					
々					

年月日

事

由

受

拂

殘

儲					
穀					
購					
入					
費					

四百四十一

十九年度達

					年月日
					事由
					由受
					拂
					殘

四百四十五

					勸業費

年月日

事由

由受

拂

殘

					何々

四百四十四

十九年度達

					年月日
					事
					由
					受
					拂
					殘

四百四十七

					何
					々

					年月日
					事
					由
					受
					拂
					殘

					勸業委員給料

四百四十六

形 離 紙 表

明治何年 自何月 至何月 戸長以下給料旅費精算帳
第三號 郡町(村)外何々町(村) 戸長役場

明治何年 自何月 至何月 戸長以下給料旅費精算帳

一金何程

元 受 高

内譯

金何程

何月何日郡役所ヨリ受取

金何程 (二期以降書載方)

前期ヨリ繰越高

一金何程

仕 拂 高

内譯

金何程

雑 俸 給

金何程

雑 給

内

金何程

筆 生 給

金何程

臨時雇筆生給

金何程

旅 費

金何程

諸 賄 料

一金何程

差 引 殘 高

内

金何程

俸給還納スヘキ分或ハ(還納済)

金何程

雜給後期へ繰越高(歳尾ニ至リ還納)

右者明治何年自何月至何月戸長以下給料旅費精算書面之通相違無之(歳尾)就テハ何年度ニ屬スル諸費ニ於テ一切脱落等無之(完結)候也

明治年月日

何郡何町(村)戸長 何 誰 印

長野縣令何誰殿

表紙離形

明治何年 自何月 至何月 戸長以下給料旅費明細表

何郡何町(村) 戸長 役 場

明治何年 自何月 至何月 俸給明細表

一金何程

俸 給

内譯

等級	事	由	月給	小計	官	姓名
何等	自何月至何月何ヶ月分	何	何圓	金何程	戸長	何誰
何等	何月十日依願免官ニ付同月上半月分	何	何圓	金何程	右	全何人
何等	何月廿日拜命ニ付同月下半月分	何	何圓	金何程	戸長	何誰

通計金何程

明治何年自何月至何月雜給明細表

一金何程

雜給

内譯

名稱	事由	由	月給	小計	姓名
筆生	自何月至何月何ヶ月分	金何圓	金何圓	何	誰
全	何月何日拜命(免職)ニ付上(下)半月分	金何圓	金何圓	何	誰

通計金何程

筆生給

名稱	事由	由	日給	雇日數	小計	姓名
臨時雇筆生	何月何日ヨリ何日迄雇入	何	何錢	何日	金何程	何誰

通計金何程

臨時雇筆生

事	由	日數	滞在	里程	小計	官姓名
何月何日何地ヲ發シ何日何地ニ着何日間滞在何月何日何地ヲ發シ何地ニ着	何日	何日	何日	何程	金何圓	戸長何誰
全						筆生何誰

通計金何程

旅費及滞在日當

名稱	事由	由	賄額	人員	延賄數	小計
宿直	筆生自何月何日至何月何日	何	何錢	何人	何度	金何程
居殘	筆生何某外人何々ノ件ニ付何月何日午後何時退出	何	何錢	何人	何度	金何程

通計金何程

諸賄料

凡例 居殘ハ退出時限後午後八時ヲ過クレハ賄壹度分同十二時ヲ過クレハ貳度分ヲ給スルモノトス

十九年度達

明治何年度町村費決算帳
第四號
郡町(村)外何々町(村)戸長役場

凡例

一何々會之部トアルハ町村聯合會町(村)會學區會水利土功會ノ類ヲ云フ
一町村聯合會ニシテ會議ノ區域ヲ異ニスルモノハ各別ニ掲クヘシ

明治何年度町村費收支決算帳
何々會ノ部

豫算ハ渾ア朱書スヘシ

豫算金何程	收入總額
一金何程	地價割
內譯	戸別割
豫算金何程	何々
金何程	
豫算金何程	
金何程	
豫算金何程	
金何程	

十九年度達

金何程	地方稅補助
金何程	何年度越金
金何程	何々
豫算金何程	支出總額
一金何程	戸長役場費
此譯	
豫算金何程	
一金何程	
內譯	
豫算金何程	
金何程	諸給與
內	
豫算金何程	
金何程	小使給
豫算金何程	
金何程	賄費
豫算金何程	
金何程	人足費
豫算金何程	
金何程	需用費

內	豫算金何程	備品費
	金何程	
	豫算金何程	消耗品費
	金何程	
內	豫算金何程	建築修繕費
	金何程	
	豫算金何程	役場建築費
	金何程	
	豫算金何程	役場修繕費
	金何程	
	豫算金何程	揭示場新築及修繕費
	金何程	
內	豫算金何程	雜費
	金何程	
	豫算金何程	印刷費(筆工料)
	金何程	

金何程	郵便稅
豫算金何程	
金何程	電信料
豫算金何程	
金何程	運搬費
豫算金何程	
金何程	借家料
豫算金何程	
金何程	借地料
豫算金何程	
金何程	地租地方稅
豫算金何程	
金何程	為換手數料
豫算金何程	
一	會議費
內	
豫算金何程	
金何程	諸給與
內	
豫算金何程	

金何程	議員日當
豫算金何程	受付掛給
金何程	小使給
豫算金何程	需用費
內	
豫算金何程	備品費
金何程	消耗品費
豫算金何程	建築修繕費
金何程	
內	
豫算金何程	會議場建築費
金何程	同修繕費
豫算金何程	

金何程	雜費
內	
豫算金何程	印刷費(筆工料)
金何程	會議場借入費
豫算金何程	器具借入費
金何程	土木費
豫算金何程	地方稅補助
一金何程	町(村)(町村)費
內	
豫算金何程	道路費
金何程	國道費
豫算金何程	
金何程	
豫算金何程	

金何程	縣道費
豫算金何程	里道以下諸費
金何程	橋梁費
豫算金何程	何河川橋梁費
金何程	用惡水費
內	
豫算金何程	何用水路費
金何程	何惡水路費
豫算金何程	何堰費
金何程	溜池費
豫算金何程	

金何程	何河川浚深費
豫算金何程	諸手當
金何程	堤防費
豫算金何程	何所堤防費
金何程	教育費
豫算金何程	某學校費
內	
豫算金何程	俸給
金何程	訓導(校長)給
豫算金何程	

金何程	授業生給
豫算金何程	諸給與
內	
豫算金何程	教員旅費日當
金何程	教員慰勞手當
豫算金何程	小使給
金何程	人足費
豫算金何程	生徒費
金何程	需用費
豫算金何程	備品費
內	
豫算金何程	
金何程	
豫算金何程	

金何程	消耗品費
豫算金何程	建築修繕費
內	
豫算金何程	校舍建築費
金何程	校舍修繕費
豫算金何程	雜費
內	
豫算金何程	借家料
金何程	借地料
豫算金何程	地租地方稅
金何程	衛生費
豫算金何程	
內	

十九年度達

四百六十一

豫算金何程	傳染病豫防費
金何程	
內	
豫算金何程	備醫員諸費
金何程	消毒藥品費
豫算金何程	消毒法施行 汚穢物埋(燒)諸費
金何程	捕除費
內	
豫算金程	下水掃除並鳥獸取 片付費
金何程	塵芥捨場費
豫算金何程	路傍便所費
金何程	災害豫防費
豫算金何程	
一金何程	

內譯	儲穀費
豫算金何程	
金何程	
內	
豫算金何程	儲穀購入費
金何程	儲倉費
豫算金何程	儲穀手入費
金何程	鳥鳥獸害豫防費
內	
豫算金何程	鳥獸威費
金何程	蟲害驅除費
豫算金何程	
一金何程	警備費
內譯	

豫算金何程	
金何程	消 防 費
內	
豫算金何程	器 械 費
金何程	雜 費
豫算金何程	
金何程	勸 業 費
豫算金何程	
內譯	
一金何程	勸業委員諸費
豫算金何程	
金何程	勸業委員給料
內	
豫算金何程	全 旅費日當
金何程	備 品 費
豫算金何程	

金何程	消 耗 品 費
豫算金何程	
金何程	郵 便 稅
豫算金何程	
金何程	電 信 料
豫算金何程	
收支差引	殘 高
金何程	

右者明治何年度町(村)(町村)費決算帳書面之通一切脱漏等無之完結候也

明治何年何月何日

何郡何町(村)外何ヶ町(村)戸長何 誰印

何郡長何 誰殿

何 年 度

諸納税金_{地方稅}町村費_{町村費}怠納者人別簿

第五號

郡町(村)外何ヶ町(村)戸長役場

何町(村)何番地

一金何程 何稅(町村費) 何之誰
 是ハ何々事由ニ付意納ノ分何月何日郡役所へ申報
 何月何日處分中收入(又ハ處分濟收入ノ旨郡役所ヨリ通報)
 (一廉毎ニ列記スヘシ)

計算表

第六號 郡町(村)外何ヶ町(村) 戶長役場

明治何年何月十日計算表

勘定科目	金	員	勘定科目	金	員
現金	千四百三拾圓		俸給	百	
繰替拂	拾圓		雜給	五拾圓	
假拂	拾圓		國庫雜收入	五拾圓	
			戶地租割割	二百圓	
總計	千四百五拾圓		營業稅	百	
			營業稅	百	
			雜種稅	百	
			雜收入	五拾圓	
			公儲金	百圓	
			一時取扱金	三百圓	
			町村費	四百圓	
總計	千四百五拾圓		總計	千四百五拾圓	

明治何年何月二十日計算表

勘定科目	金	員	勘定科目	金	員
現金	五百拾圓		俸給	九拾圓	
繰替拂	○		雜給	三拾圓	
假拂	○		國庫雜收入	○	
			戶地租割割	○	
			營業稅	○	
總計	千四百五拾圓		總計	千四百五拾圓	

明治何年何月三十一日計算表

勘定科目	金員	勘定科目	金員
現金	五百壹圓	俸給	九拾圓
繰替拂	○	雜給	三拾圓
假拂	○	國庫雜收入	○
		地租割割	○
		營業稅	○
		雜種稅	○
總計	五百拾圓	總計	五百拾圓
		町村費	三百九拾圓
		一時取扱金	○
		公儲金	○
		雜收入	○
		雜種稅	○

明治何年何月何改

表紙雛形

土地ノ部

何國何郡何町村何番地

字何々 戸長ノ印

一反別何程

此地價何程

此相當(買入)代價何程

但縮圖別紙添

第七號 郡町(村)外何々町(村) 戸長役場

財產原簿

總計	五百壹圓	總計	五百壹圓
		町村費	三百八拾壹圓
		一時取扱金	○
		公儲金	○
		雜收入	○

是ハ何年何月何日何々ノ事由ニヨリ何某ヨリ寄附又ハ買入候分

家屋ノ部

何國何郡何町村何番地修補

何々形造

一 建家 ① 桁行何間

梁間何間

壹棟

但縮圖別紙添

此建坪何程 ①

此附屬具

天 井

敷居鴨居

襖

何障子

戸

何々

何 坪 ①

何 組 ①

何 本 ①

何 本 ①

何 程 ①

何 程 ①

此相當(買入)代價何程 ①

何品(物品)ノ部

何年何月何日新調

一 何 箇 ①

何年何月何日新調

一 何 箇 ①

計何箇 ①

但何製何々形造

但

内

何箇 ①

改現在高何箇 ①

表紙雛形

何年何月何日
何々ニ付損廢

證 書 式

第八號

證書式

明治何年何月戸長及筆生俸給請取證

戸長俸給

一金 何 ① 程

一金 何 ① 程

但何日任命ニ付下半年分(何日轉任ニ付下半年増給分)

一金 何 ① 程

但何日免官ニ付上半月分

一金 何 ① 程

但何日昇給ニ付下半年増給分

戸 長 何

戸 長 何

戸 長 何

戸 長 何

戸 長 何

誰 誰 ① ①

誰 誰 ① ①

誰 誰 ① ①

誰 誰 ① ①

誰 誰 ① ①

誰 誰 ① ①

計金何程	筆生	
一金何程	筆生何	誰
一金何程	筆生何	誰
但何日拜命ニ付(轉任ニ付)下半年(増給)分		
一金何程	筆生何	誰
但何日免職ニ付上半月分		
一金何程	筆生何	誰
但何日昇給ニ付下半年増給分		
計金何程	臨時雇筆生給	
一金何程	日給金何錢雇	何
但何日ヨリ何日迄勤日數何日分		
一金何程	日給金何錢雇	何
但何日ヨリ何日迄勤日數何日分		
計金何程	旅費	
一金何程		

內	車馬賃何里分	
金何程	滞在何日分	
金何程	何々	
金何程	但何件ニ付何地出張(或ハ)トシテ何年何月何日何地出發何地着直行程若干何日ヨリ何日迄日數若干滞在何日出發何日迄巡回何所ニ至ル日數若干巡回里程若干何日同所出發歸廳直行程若干旅費本項之通	
右正ニ領收候也	戸長(筆生) 何	誰
明治何年何月何日		
證		
一金何程	宿直	
金何程	延度數何度壹度金壹錢五厘	
金何程	居殘	
金何程	延度數何度壹度金壹錢五厘	
	但何件取調ノ爲メ居殘ト事由詳記スヘシ	
度數	何員	受取人姓名 誰
壹	金壹錢五厘	戸長何 誰

貳	金 三 錢	筆 生 何 誰 印
七	金 拾 兩 錢 五 厘	筆 生 何 誰 印

○乙第五拾壹號 三月拾九日 郡役所 戸長役場

明治十八年九月乙第貳百拾七號追加ノ件 (訂正濟)

○乙第六拾八號 四月八日 郡役所 戸長役場

本年乙第四十六號更正ノ件 (訂正濟)

○乙第七拾貳號 四月十四日 郡役所 戸長役場

郡役所戸長役場租稅徵收ニ關スル帳簿式別冊ノ通相定明治十七年九月本縣乙第百九拾貳號達諸帳簿式ハ自今廢止ス

○乙第七拾七號 四月十九日 郡役所 戸長役場

明治拾八年十月乙第貳百貳拾八號達削除改正ノ件 (訂正濟)

○乙第八十一號 四月廿四日 郡役所 戸長役場

明治十六年(三月)本縣乙第三拾五號(類第五十八項ニ出ツ)達第二項ニ據リ行旅病人救護ヲ加ヘ本籍戸長通報ノ節ハ步行ノ難易並豫后等記入シタル醫師ノ診斷書ヲ添ヘシ又他ヨリ本籍ヘ引取人ヲ要シ來ルトキ若シ其家元赤貧ニシテ親戚等モ無之引取人難差向場合ニ在テハ戸長ニ於テ相當ノ者相撰ミ引取候上其費用ヲ計算請求スヘシ此旨相達候事 但費用ハ成丈節略候様注意スヘシ

○乙第八拾二號 四月廿六日 郡 役 所

本年甲第四十三號布達歲入歲出納規則第廿七條但書ノ場合ハ當分左ノ手續ニ據リ取扱フヘシ此旨相達候事

一各役所々在ノ地ニ現金支拂所アル者ハ規則第廿七條本文ノ手續ニ依リ現金ヲ現金支拂所ヘ納付ス

一各役所々在ノ地ニ國庫金取扱所又ハ現金支拂所ナキモノハ金高百圓未満ハ毎十日百圓以上三百圓未滿ハ毎五日三百圓以上ハ其都度取纏メ其地ニ接近ナル金庫ヘ送付スヘシ

○乙第九拾壹號 五月八日 郡役所 戸長役場

町村費徵收科目之義ハ明治十七年乙第百二十六號ヲ以テ相達置候處地方稅營業稅雜種稅規則第二條中國稅アルモノヲ除キ地方稅及賦金ヲ課スヘキ種目ハ總テ村町費ヲ賦課スルヲ得

但明治十八年乙第三百七十一號達ハ相廢ス

○乙第九十六號 五月十九日 郡役所 戸長役場

行旅死亡人及行旅病人ノ携帶セル幼年者救助ノ費用ハ本人又ハ家元ヨリ辨償セシムルト雖モ赤貧ニシテ辨償シ能ハサルトキハ恤救規則ニ依リ一般給與可相成等ニ付本籍戸長ノ身元取調書及戸籍寫等ヲ徵シ該規則適當ノモノト認ムル上ハ給助方ヲ申出ツヘシ若シ増費ヲ要スルカ又ハ該規則ニ適當セサルモノハ本籍地方稅ヨリ支辨ノ儀ト心得ヘシ

○乙第九十九號 五月廿四日 郡役所 戸長役場

(廿四年三月訓令第三十七號但書ヲ以テ廢止ス)

○乙第百五號 六月三日 郡役所 戸長役場

藥品購求者ノ儀ニ付テハ兼テ該取締規則第四條ニ制限有之候處置兒ノ病毒薰蒸用ニ限リ品名量數需用ノ目的等詳記シタル證書ニ其組合醫系業取締所又ハ組合事務所ノ印章ヲ以テ之ヲ證シタルトハ特ニ左ノ四種ノ藥品ヲ販賣スルヲ得ヘキ旨藥舖營業者ヘ示達スヘシ

鹽酸 硫酸 過酸化マンガン 鹽化石灰

○乙第百拾四號 六月十七日

郡 役 所

明治十年第七十九號公布第二條ニ依リ税金不納ニ係ル者ノ營業ヲ停止シタルトキハ其住所姓名ヲ時々所轄分署へ申報スヘシ其申報後納完シタルトキ亦同シ

右相達ス

○乙第百二十號 六月三十日

郡役所 戶長役場

內國旅費規則別冊之通被定旅費定則中內國之部廢セラレ右相達ス

內國旅費規則

- 第一條 內國旅費ハ官吏公務ニ依リ本邦内ヲ旅行スルトキ旅行中一切ノ費用ニ充ツル爲メ之ヲ支給ス
- 第二條 內國旅費ハ各官等ニ依リ分テ六等トシ別表ノ定ムル所ニ從ヒ順路ノ路程ニ依リ汽車賃汽船賃車馬賃及日當ヲ支給ス但車馬賃及日當ハ管内外ニ區別シ之ヲ支給ス
- 第三條 汽車賃ハ汽車旅行汽船賃ハ汽船旅行車馬賃ハ陸路旅行日當ハ休泊料及其他ノ諸費ニ充ツル爲メ之ヲ支給ス
- 第四條 官有ノ舟車馬及官廳ニ於テ借入備入タル舟車馬等ニテ旅行シ若クハ旅行ノ性質ニ依リ特ニ舟車馬等ノ實費拂フ許可シタルトキハ本令ノ汽車賃汽船賃及車馬賃ヲ支給セス
- 第五條 汽車賃ハ哩數汽船賃ハ海里數車馬賃ハ里數日當ハ日數ニ應シ之ヲ支給スヘシ外國旅費ノ日當ヲ給スルトキハ本條ノ日當ヲ支給セス
- 第六條 赴任又ハ管外旅行ノ爲メ其管内ヲ通過スルハ其路程ハ管外ニ準シ又管内巡回ノ際其便宜ニ依リ管外ヲ通過スルトキハ其路程ハ管内ニ準スヘシ

第七條 日當ハ陸路六里未滿汽車十哩未滿及汽船十海里未滿ノ旅行ニハ支給セサルモノトス但公務ノ都合ニ依リ宿泊ヲ要スルトキハ宿泊ノ數ニ應シテ日當ヲ支給スヘシ

第八條 汽車賃汽船賃及車馬賃ハ其種類毎ニ經過セシ路程ノ總數ヲ合算シテ之ヲ支給スヘシ但其一位未滿ノ端數ハ計算セサルモノトス

第九條 旅行ノ兩會計年度ニ跨ルトキハ各年度毎ニ之ヲ區別シ旅費ヲ計算スヘシ但汽車賃及汽船賃ハ會計年度ニ係ハラズ汽車賃船ノ到達地ニ著シタル日ヲ以テ之ヲ區別シテ計算スヘシ

第十條 檢田測量及土木工事等ノ爲メ現場ヲ巡視スルトキハ車馬賃ヲ給セス日當額ニ三割ヲ増給スヘシ

第十一條 赴任旅費ハ舊任地ヨリ新任地ニ至ルマテ本官相當ノ車馬賃汽車賃若クハ汽船賃ノ二倍ヲ支給スヘシ

第十二條 廢官若クハ退官ノ際事務引繼殘務取調其他公務ノ爲メ旅行セシムルトキハ前官相當ノ旅費ヲ支給スヘシ

第十三條 新ニ任用スル爲メ召喚スルモノハ其新任官相當ノ旅費ヲ支給スヘシ

第十四條 旅行中歸省其他私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過スルトキハ順路ノ路程ニ應シ旅費ヲ支給スヘシ

第十五條 旅行中廢官死亡又ハ諭旨退官シタルモノハ前官相當ヲ以テ舊任地マテノ旅費ヲ支給スヘシ

第十六條 前二條ノ場合ニ於テ日當ヲ支給スル爲メ其日數ヲ計算スルハ汽車旅行ハ一日二百哩詰汽船旅行ハ一日百海里詰陸路旅行ハ一日十二里詰トス但距離接近シテ數種ノ旅行相跨ルトキハ各其路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行時間ハ十二時間トシ其日數ヲ計算スヘシ

第十七條 各省大臣ハ大藏大臣ト協議シ平常旅行ヲ要スル官吏ニ對シ特ニ其旅費額ヲ定メ月額ヲ以テ

之ヲ支給スルコトヲ得

- 第十八條 各省大臣ハ大藏大臣ト協議シ定額ノ旅費ヲ減少スルコトヲ得
- 第十九條 府知事縣令ハ三等旅費郡區長ハ五等旅費ヲ支給スヘシ
- 第二十條 陸海軍武官及警察官ノ旅費ハ主任大臣大藏大臣ト協議シ別ニ之ヲ定ムヘシ
- 第二十一條 神官及雇員其他本令ニ明文ナキモノ、旅費ハ主任大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムヘシ

等	級	旅費額		管外車馬賃	管内車馬賃	管外日當	管内日當
		汽車賃	汽船賃				
一等	親任官	一哩毎ニ 金拾五錢	一海里 金拾五錢	一里毎ニ 金五拾六錢	一里毎ニ 金三拾二錢	一日毎ニ 金四圓	一日毎ニ 金三圓
二等	勅任官 一等官 二等官	金拾貳錢	金拾貳錢	錢 金四拾貳	錢 金貳拾四	金三圓	金貳圓
三等	奏任官 二等官 三等官 四等官	金九錢	金九錢	錢 金貳拾八	錢 金拾六錢	金貳圓	金壹圓六拾錢
四等	奏任官 五等官 六等官 試補	金九錢	金九錢	錢 金貳拾貳	錢 金拾貳錢	拾錢 金壹圓四	金壹圓
五等	判任官 以上等	金六錢	金六錢	金十四錢	金八錢	金九拾錢	金七拾錢

六等	判任官 以上等	金六錢	金六錢	金八錢	金六錢	金七拾錢	金五拾錢
----	------------	-----	-----	-----	-----	------	------

○乙第百二十三號

七月一日

郡役所

戶長役場

瘋癲人取扱心得ヲ定ム

右相達ス

瘋癲人取扱心得

- 第一條 路上ニ徘徊スル瘋癲人ヲ認メタルハ親屬若クハ看護スヘキ任アル者近傍ニアルトキハ直ニ之ヲ引渡シ其之ヲキトキハ管轄ノ自他ニ拘ハラス認メタル地ノ戶長ニ引渡スヘシ
- 第二條 引渡ヲ受ケタル戶長ニ於テハ適宜救護スヘシ
- 第三條 但其狂暴ニシテ他人ニ對シ危害ノ憂アルモノハ此限ニアラス
- 第四條 瘋癲人ノ族籍詳ナラス搜索ノ端緒ヲキトキハ戶長ニ於テ便宜揭示場及新聞紙等ヲ以テ廣告スヘシ
- 第五條 前條ノ費用ハ瘋癲人本籍ノ負擔タルヘシト雖モ原籍不明ナルトキハ地方稅教育費ヨリ支辨スルモノトス
- 第六條 瘋癲人ニ接スルニハ專ラ慰撫ヲ旨トシ決シテ手荒キ取扱アルヘカラス若シ狂暴ニ涉リ自他ヲ傷害セントスルモノハ之ヲ取押フヘシト雖モ爲メニ病勢ヲ増進セシムル等ノコトアルヘカラス
- 第七條 瘋癲人ヲ私宅鎖錮願フ受ケタル警察署又ハ分署ハ警部警部補若クハ代理官醫員ヲ伴ヒ病家ニ出張シ病狀ノ輕重出願人ト病者トノ關係等ヲ取調之上之ヲ許否スヘシ其疑ハシキ者ハ事情ヲ具シ警部長ノ指揮ヲ受クヘシ
- 但許可ヲ爲シ及ヒ解鎖ヲ届出タルトキハ其都度警部長ニ申報スヘシ
- 第七條 前條許可ノ後其所轄警察署分署ニ於テハ警部警部補又ハ代理官臨時病家ニ就キ病狀ノ模様及

十九年度達

四百七十九

小學校長若シクハ首坐教員ニ回付スヘシ

○縣令乙第六拾六號 十一月廿二日

郡役所

戶長役場

小學校

學事表簿様式別紙ノ通制定候條左ノ心得ニ據リ取調フヘシ

但明治十五年本縣乙第七十二號達ヲ廢ス

學事表簿取調心得

學齡簿

戶長之ヲ管理シ學齡兒童就學取扱心得ニ據リ登記ス可シ

生徒學籍簿

學校長若クハ首坐教員之ヲ管理シ始メ戶長ノ通知ニ依リテ姓名等ヲ記シ入退學入級等ハ其時々記載スヘシ

生徒出席簿

學校長若クハ首坐教員之ヲ管理シ受持教員ヲシテ日々記入セシムヘシ

生徒月(年)末調査表

學校長若クハ首坐教員ニ於テ生徒出席簿ニ據リ登記スヘシ

學事統計表 甲乙

諸學校表

統計表ハ戶長及學校長若クハ首坐教員諸學校表ハ戶長ニ於テ前年ノ計數ヲ登記シ毎年一月十五日マテニ郡役所ヘ差出スヘシ

郡役所ニ於テハ之ニ總計表ヲ附シ左ノ條項ノ取調ヲ添附シ一月三十日マテニ縣廳ヘ差出スヘシ

一郡内學事ノ狀況

學事ノ現狀ヲ概記スヘシ

一學齡兒童就學
就學兒童増減ノ原由其他學齡就學ニ係ル總テノ狀況ヲ記載スヘシ

一小學校
公私立學校ノ準備生徒修業ノ狀況其他父兄ノ職業ニ關シ在學ノ長短學業進否ノ趣ヲ異ニスル等ノ事項ヲ記載スヘシ

一町村會
教育費ニ係ル議事ノ梗概ヲ記載スヘシ

二教育會
組織并議事ノ梗概ヲ記載スヘシ

一其他學事ニ付申報スヘキ條件ハ便宜類聚記載スヘシ(表ハ畧ス)

○縣令乙第六拾九號 十一月廿四日 郡役所 戶長役場

(廿二年)縣令第拾六號達ニヨリ消滅ス

○縣令乙第七拾號 十一月廿九日 郡役所 戶長役場

本年五乙第九拾九號達地方稅營業稅雜種稅中改正ノ件 (訂正濟) 郡役所 戶長役場

○縣令乙第七拾貳號 十二月二日 郡役所 戶長役場

明治十七年本縣乙第百貳拾六號達中追加ノ件 (訂正濟) 郡役所 戶長役場 勸業委員

○戊第二拾六號 三月十一日

當縣工業受負土工ニ關スル物品購入受負工業地之受負規則別冊之通相定候條此旨告示候事

(廿二年告示十二示第百二拾七號ヲ以テ本文告示中工業入札受負及物品購入受負規則ノ項廢止ス)

表紙雛形

工業地元受負規則

工業地元受負規則

- 第一條 地元受負ハ直接關係アル地ノ人民ヨリ金錢或ハ勞力土地等ヲ寄附シ之ニ依リ成立ツヘキ工業ニ於テ其人民ヨリ受負ヲ出願シ之ヲ許可シタルモノニ限ル
- 第二條 地元受負ヲナサント欲スルモノハ貳名以上ノ無限責任アル總代人ヲ撰ヒ出願スヘシ
- 第三條 受負金額ハ縣廳ヨリ下付シタル目論見帳ニ依ルモノトス
- 第四條 受負ヲ命セラレタル日ハ三日以内ニ別紙書式ニ據リ受負證書ヲ差出スヘシ若シ其期日ヲ怠ルキハ其受負ヲ取消スコアルヘシ
- 第五條 工事ニ用フル木材其他ノ物品ハ工事着手前必主務官吏ノ檢査ヲ受クヘシ
- 第六條 萬一已ムヲ得サル場合ニ依リ受負工事ニ對シ中途廢止又ハ増減ヲ命スルキハ受負人之ヲ拒ムヲ得ス尤モ其工費ハ糞キニ下附セル目論見帳ニ準據シテ之ヲ定ム
- 第七條 受負後期日ヲ過テ着手セサルモノ又ハ着手スルモ期限内到底竣功シ能ハスト視認スルキハ直チニ受負ヲ解キ直管又ハ入札受負トナスコアルヘシ尤モ此場合ニ於テ既ニ着手セシモノハ目論見帳ニ依リテ出來形ヲ檢査シ之ニ相當スル工費ヲ下附スヘシ

第八條 竣成檢査之際ハ勿論工事中ト雖モ主務官吏ニ於テ其工事若シ仕様目論見帳ニ差フモノアリト認ムルキハ直チニ改築ヲ爲サシムルコアルヘシ尤モ此ヨリ生スル費用ハ都テ受負者ノ負擔トス

第九條 受負金渡方ハ工業出來形五分通ニ至リ受負金ノ三分其七分通ニ至リ全額ノ二分竣成ニ至リ全額ノ三分トシ竣成檢査之後直チニ其殘額ヲ下附スヘシ

第十條 但受負金高五拾圓ニ滿タサルモノ竣成ニ至リ全額ノ八分竣成檢査ノ後其殘額ヲ下附スヘシ
第十條 工事中ハ施工シ能ハサル雨雪出水等ノ日ヲ除クノ外ハ休業スヘカラス
但大祭日ハ届出ノ上休業スルコトヲ得

第十一條 工事中種々ノ異變等ニ依リ受負人損失ヲ受クルコアルモ縣廳ハ一切之ニ關係セス

第十二條 受負工事若期限内ニ竣成シ能ハサル事由ノ生シキハ豫メ之ヲ縣廳ニ申出許可ヲ受クヘシ

第十三條 工事ノ爲メ除去セサル樹木土石作物等アルキハ其時々主務官吏ノ指圖ヲ受テ受負人妄リニ手ヲ下スヘカラス

但不用物捨置場所ノ如キモ主務官吏ノ指圖ニ從フヘシ

第十四條 施工上測量標杭ヲ移轉セサルヘカラサル場合アルキハ必主務官吏ノ指圖ヲ受クヘシ

消印

書式

受負證



一金何程

右ハ今般何々御普請(御買上)ニ付入札仕候處私分低價ナルヲ以テ工費内譯。(物價)御精査ノ上二前書ノ金高ヲ以テ受負御申付相成敬承仕候就テハ御縣何年何月何日何號告示何々受負規則ヲ遵守シ仕様帳

十九年度達

四百八十七

廉書(物品御注文書)ノ通總テ御差圖ヲ受ケ何年何月何日ヨリ着手シ何年月日マテニ竣功可致萬一御規則ニ違ヒ候カ其他不都合ノ義有之候キハ御規則ノ通御處分相成聊カ申分無之候尤モ違約金ノ如キモ御命令ノ日ヨリ三日以内ニ必可差上候依テ證書如件

年月日

何郡何町(村)何番地住
受負人 何 之 某 印
引受人 何 之 某 印

縣令宛

○戊第五拾七號 五月七日

警察上ニ係ル諸願ハ自今本書登通ヲ差出シ副書ヲ附スルニ及ハス

○戊第八拾壹號 六月廿三日

秣柴拂下及土石掘取料金ハ從前前期中ノモノ及六月前新規許可ノ者ハ其年七月三十日限り又七月ヨリ拾貳月迄ニ許可ノ者ハ翌年壹月三十日限り完納スヘシ

○告示第貳號 七月廿六日

當廳へ差出ス諸願屆等從來多ク美濃紙相用ヒ候處一定ノ用ヒ紙ヲ示シタルモノ、外自今成ル可ク半紙ヲ使用スヘシ

○告示第三號 七月廿七日

將來工業品ノ試驗鑑別等工務局へ質問セントスルモノハ別記明細書ニ見本品ヲ添へ差出スヘシ尤品柄ニ依リ試驗費用ヲ多分ニ要スルキハ請願人ヨリ支辨セシムルコトアルヘシ

一產地

明細書

一製品ナレハ其製作者住所姓名並製法
一使用ノ目的

試驗品數量

一分析試驗

固体ナレハ

二斤位

液体ナレハ

五合位

製品ハ成ルヘク

貳個以上

但一個ハ工務局備品トシテ留置クモノトス尤高價ノ物品又ハ其品柄ニ依リ買上クルコトアルヘシ又重大ノ物品等ニシテ二個以上ヲ要セサル者ハ此限ニアラス

○告示第三十七號 九月二十九日

本年戊第五十五號告示官有地貸渡規則第十六條左ノ通改正ス

第十六條 貸渡期限中官民ノ都合ニ依リ返還スルキハ左ノ區別ニ從ヒ貸渡料ヲ免除シ既納金アルキハ

過納ニ屬スルモノハ還附ス其既納金ナキキハ處分ノ日ヨリ三十日以内ニ納ムヘシ

年期ニ係ルモノ官ノ都合ニ依リ返還スルキハ處分ノ月ヨリ免除シ人民ノ都合ニヨリ返還スルキハ

其翌月ヨリ免除ス月數ニ係ルモノ官ノ都合ニ依リ返還スルキハ處分ノ日十五日以前ニアルキハ其月

ヨリ又十六日以後ニアルキハ其月ノ半額ヲ免除ス其人民ノ都合ニ依リ返還スルキハ處分ノ日十五日

以前ニ在ルキハ其月ノ半額ヲ免除シ十六日以後ニアルキハ其翌月ヨリ免除ス

日數ニ係ルモノハ官民孰レノ都合ニ依リ返還スルモ處分ノ日ヨリ免除ス

○告示第四十八號 十月十二日

看守押丁召募規則別冊之通改正ス

看守押丁召募規則

第一條 看守押丁ハ志願ノ者ヲ以テ検査合格ノ上採用スヘシ其合格ハ左ノ如シ
一年齡二十一年以上滿三十五年以下ニシテ徵兵ニ相當セサル者

但シ年齡十八年以上四十五年以下ノモノト雖モ體質強壯且職務ニ堪ニル見込アルモノハ例ニ照シテ採用スルコトアルヘシ

一身幹曲尺五尺以上ノ者

一 体格體質強壯ニシテ職務上ニ害アル疾病ナキ者

一 品行方正ニシテ酒癖又ハ暴行ノ癖ナキ者

一 讀書普通ノ文書ヲ讀ミ得ル者

一 作文簡易ナル眞片假名文及ヒ通俗往復文ヲ綴リ得ル者

但押丁ハ眞片假名文ヲ除ク

一 算術和洋ヲ問ハス單比例及ヒ加減乗除ノ問題ニ應答シ得ヘキ者

一 滿二ケ年以上勤續差支ナキ者

第二條 前條合格ノ者ト雖モ左ノ諸件ニ牴觸スルモノハ看守押丁ニ採用セズ

一 重罪ノ刑ニ處セラレ又ハ輕罪重禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ全上ノ刑ニ處セラルヘキ罪ヲ犯シ

單ニ監視ニ附セラレタル者及ヒ輕罪輕禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期后五年ヲ經過セサル者

但舊法ニ據リ施体ノ刑ニ處セラレタル者ハ總テ本文ノ權衡ニ準ス

一 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタル者

一 巡查看守懲罰例又ハ官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ若クハ故ナク巡查看守ヲ辭職シ二年以上ヲ經過セサル者

セサル者

但押丁ハ此限ニアラス

四身分不相應ノ負債アル者又ハ身代限リノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

第三條 看守若クハ押丁ヲ志願スル者ハ別紙式書ニ據リ志願書ニ誓約書履歷書身元引受證書等ヲ添ヘ

本縣監獄課ヘ差出スヘシ

第四條 身元引受人ハ親屬故舊ヲ問ハス本縣下在籍ノ者ニシテ滿二十年以上ノ戶主ニ限ルヘシ

第五條 監獄課ニ於テハ日時ヲ定メ試験ヲナシ合格ノ者ハ順次採用シ不合格者ハ志願書ヲ還付ス

第六條 一度試験ヲ受ケ不合格ノ者ハ六ケ月ヲ經過スルニアラサレハ再ヒ志願スルコトヲ得ス

但先ニ看守ヲ志願シ後押丁ヲ志願スルハ此限ニアラス

書式 用紙美濃紙

(看守)(押丁)志願書

何縣何國何町何番地華士族平民

何某長次男伯叔父兄弟甥孫

何 某

何年何月何日生

當何月何年何ヶ月

右者本縣(看守)(押丁)奉職志願ニ付御試験ノ上御採用被成下度此段奉願候也

右

何 某 印

明治何年何月何日

長野縣知事何某殿

前書ノ通出願ニ付取調候處召募規則第二條ニ牴觸ノ虞無之ニ付與書候也

何何村戶長

明治何年何月何日

誓約書

何 某 印

(肩書前例ニ同シ)

何 某

今般(看守)(押丁)志願候處御採用相成候上ハ左ノ條項確守可致候

一職務ノ規則及ヒ上官ノ命令ヲ遵守スルハ勿論在監人ノ囑託ヲ受ケ他人ニ通信シ或ハ物件ヲ贈答シ又

其媒介ヲナサ、ル事

一滿二ヶ年内ニ辭職セサル事

一職務上權外ノ事ヲ論議セサル事

一濫リニ金錢ヲ借用セサル事

一酒色ニ沈湎セサル事

右誓約候處相違無之候也

右

明治何年何月何日

何 某 印

長野縣知事何某殿

身元引受證書

(肩書前例ニ同シ)

何 某

右ノ者今般本縣(看守)(押丁)志願候處御採用相成候上ハ萬一不都合有之辨償等可致ハ勿論總テ本人一身上ニ關スル儀ハ何事ニ限ラス私ニ於テ引受可申候依テ身元引受證書如斯候也

身元引受人

長野縣何郡何町村何番地

華士族平民

何 某 印

明治何年何月何日

長野縣知事何某殿

履歷書

(肩書前例ニ同シ)

何 某

何年何月何日生
當何月何年何ヶ月

何年何月何日

何府縣

一何々申付候事

月俸金何圓給與候事

同

何省廳

一任何々官

同

一免本官

同

何々

一何々ニ付賞罰

官廳ニ奉職セシテ無之モノハ學業技術修業其他必要ト認ムルモノヲ記載スヘシ

右

明治何年何月何日

何 某 印

○告示第八拾號 十二月七日

職遊獵威統ニ關スル事務自今警察署ニ於テ取扱ハシム

○告示第八拾貳號 拾貳月十一日

本年甲第三拾五號布達汽鐘取締規則ニ依リ検査ヲ要スル汽鐘現在ノ分ハ來貳拾年一月十日限爾後ノ分ハ其都度所轄郡役所ヲ經由出願スヘシ

但本年八月第拾八號告示ハ廢止ス

○告示第百壹號 十二月廿七日

當縣官有物品公賣規則別冊之通相定ム

官有物品公賣規則

- 第一條 官有ノ土地建物及物品ヲ公賣セントスルハ新聞紙其他便宜ノ方法ヲ以テ廣告スルモノトス
- 第二條 購入望ノモノハ廣告日限内指定ノ地ニ就キ地所建物及物品ヲ點檢シテ手續等不了解ノ虞アル
キハ主務吏員ニ質問シ詳細領得ノ上投票スヘシ
- 第三條 入札ハ先ツ總額ヲ記シ次ニ詳細ノ内譯ヲ明記シ末ニ住所姓名ヲ記シ調印ノ上之ヲ封シテ差
出スヘシ若シ金員氏名等不分明ナルモノアルハ之ヲ採用セス
- 第四條 既ニ入札シタル後違算其他ノ事故ニ依リ取消又ハ更正ヲ乞ハントスルモノハ開票時限ヨリ一
時間前ニ申出ツヘシ若シ之ニ後ルハ決シテ採用セス
- 第五條 落札ハ投票中最高價ナルモノヲ取ルヘシト雖モ縣廳ニ於テ其金高ヲ不適當ト認ムルカ又ハ不
都合ノ所爲アリト思量スルキハ其投票ヲ取消スヘシ
- 第六條 落札ハ總額ニ據ルモノトス尤モ區分シテ落札スルハ豫メ廣告ノ際之ヲ區分スルモノトス

第七條 入札開查ニ當リ最高價ニシテ同額ノモノニ票以上アルキハ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ム

第八條 落札者若シ次票ニ讓ラントスルキハ其差金ヲ出サレハ一切之ヲ採用セス

第九條 投票者ハ信認金トシテ投票額ノ十分ノ一ニ該當スル金額ヲ肅封ノ上投票ニ添ヘ差出スヘシ
金ハ其金額ヲ記シタル紙片ニ調印シ之ヲ入レ置キ封皮ニハ何ノ註ト記シ置クヘシ 尤モ開票ノ上落札ニアサルモノハ直ニ下渡シ落札者ノ分ハ預リ置キ代
價ト差引クモノトス

第十條 信認金ノ封緘ハ尤モ其糊貼ニ注意シ封シ目ニハ上下各二個中部ニ一個ノ緘印ヲナスヘシ

第十一條 地所建物及物品ノ授受ハ代價ト引換ルモノトス尤モ建物物品ハ雙方立會ノ上點檢スヘシ

第十二條 落札ノ上ハ事故等ニ依リ取消又ハ變更ヲナサハルモノトス若シ已マラ得テ取消又ハ變更ス
ルニ於テハ違約金トシテ信認金ヲ沒收ス

第十三條 既ニ引渡濟ノ上ハ如何ナル損害アルモ一切之ニ關係セス

投票雛形

記

一金、、、、

何々代

内譯

金、、、、

何々代但云々個數及一個當
ノ金員等ヲ記スヘシ

金、、、、

何々代、、、、

右ハ今般御拂下ノ廣告ニ原ツキ實地(物)點檢候處購入望ニ付前記ノ金額ヲ以テ申請度落札ノ上ハ直ニ
代價可相納若シ變更取消等申立候節ハ規則ニ依リ御處置相成候ハ勿論差添有之信認金ヲ以テ違約金ニ
御引當相成候トモ聊カ異存無之依テ調印ノ上投票候也

年月日

何縣町村住

何ノ誰

郡役所 戸長役場

○訓令第百十二號 十一月十一日
當縣土工條規則別冊之通相定候條右ニ據リ取扱フヘシ

土工條規則

第一章 起工手續

第一條 地方稅負擔ノ工事ニシテ新設改良又ハ重大ニ涉ルモノハ都テ當廳ヨリ吏員ヲ派遣シ實測ヲ遂ケ之ヲ設計スルモノトス其通常修繕ニ止ルモノハ所轄戸長箇所書ヲ郡役所ニ差出シ郡長之ヲ實視セシメ攔キ難シト認ムルモノニ限リ假目論見ヲ立テ稟請ス可シ當廳ニ於テハ更ニ之ヲ精査シ直ニ假目論見ヲ採用シ或ハ之ヲ取捨シテ更ニ目論見帳ヲ製シ起工スルモノトス

第二條 地方稅負擔ノ工事ハ直管富縣土木課員郡役所員戸長及地元受負ノ法ニ據リ起工スルモノトス

第三條 地方稅補助ヲ受クヘキ工事ニシテ其新設改良及重大ニ涉ルモノハ擔當者戸長管理者實況取調書ヲ郡長ニ差出シ郡長ハ實視セシメ擔當者ト謀リ目論見ヲ立ツルモノトス其修繕工事ハ擔當者目論見ヲ立テ稟請又ハ出願シ郡長之ニ意見書ヲ付シ進達スルホハ當廳ニ於テ精査ノ上直ニ其目論見ヲ用キ又ハ之ヲ更正シテ補助ノ額ヲ定ムルモノトス

第四條 地方稅連帶支辨ノ工事ハ直管及地元受負等ノ法ニ據リ起工スルモノトス

第五條 町村費及協議費ヲ以テ施爲スル工事ニシテ改良新設等ニ係ルモノハ擔當者目論見ヲ立テ關係ノ圖面ヲ添ヘ稟請又ハ出願スヘシ郡長ハ之ヲ實視セシメ意見ヲ副申シ當廳ハ其重大ノ工事ニ限リ吏員ヲ派遣シ實視ノ上之ヲ許否スルモノトス

但其目論見仕様等ハ當廳ノ調査ニ依リ變更スルヲアルヘシ

第六條 前條ノ工事ニシテ通常修繕ニ止ル工事ハ擔當者目論見ヲ立テ關係ノ圖書ヲ添ヘ郡長ニ稟請シ郡長ハ實視ノ上之ヲ許可スヘシ

但目論見仕様ハ調査ノ上之ヲ取捨變更スヘシ

第七條 協議費支辨ノ工事ハ戸長之ニ連署スルモノトス尤モ意見アルモノハ別ニ意見ヲ副申ス可シ

第八條 國縣道ニ用惡水路樋管ノ類ヲ通シ又ハ地方稅負擔ノ河川ニ里道以下ノ橋梁ヲ架シ堰埭ヲ設ケタルモノハ修繕ノ工事ト雖モ重大ニ涉ルモノハ經伺ノ上ニ非レハ郡長ハ直ニ之ヲ許可スルヲ得ス

第九條 當廳吏員ヲ派遣スルハ毎年三月一日ヨリ九月三十日間十月一日ヨリ三月三十一日間ノ二期トス其第一期ハ道路橋梁ニ係ル目論見ヲ立テ或ハ各工事ノ竣成檢査ヲ爲シ第二期ハ河川ニ係ル目論見ヲ立ツ故ニ假目論見帳ハ此出發期日十五日前ニ必ス當廳ニ到達スルノ目的ヲ以テ差出スヘシ若シ此期ヲ愆ルモノハ之ヲ次期ニ順延スルモノトス

第十條 地方稅負擔ノ場所ニシテ洪水其他不慮ノ災害ニ罹リ豫圖ノ外俄カニ破損ヲ生シ前條ノ定期ヲ待ツヘカラサル至急ノ工事ハ所轄戸長速ニ箇所書ヲ製シ郡長ニ報告シ郡長ハ直ニ之ヲ實視セシメ其工費三十圓未満ノモノハ直ニ郡長ニ於テ之ヲ施行シ三十圓以上ノモノハ急報ヲ以テ大旨ヲ伺定シ然ル後之ヲ爲シ竣功ノ上ハ精算書ヲ調シ更ニ届出ツヘシ

第二章 費用

第十一條 直管工事ニ係ル地方稅ノ支拂ハ都テ所轄戸長之ヲ擔當處辨スヘシ

但土木課員及郡役所員ニテ施爲スル工事ニ係ルモノハ之ト協議シ豫メ適宜ノ手續ヲ定メ置クヘシ

第十二條 地方稅ヨリ支出スヘキ金額ハ戸長ヨリ郡役所ニ請求スヘシ當廳ハ工事ノ緩急ヲ計リ豫メ相當ノ金員ヲ郡役所ヘ附托スルモノトス

十九年度達

四百九十七

但受負規則ニ據リ受負ヲ命シタル工費ノ下渡方ハ受負者ヨリ請求書ニ監督員ノ捺印ヲ受ケ直ニ郡役所へ申出ルヲ得

第十三條 直管工事ノ爲メ死傷セシモノニ非レハ手當金等ハ地方税ヨリ給與セサルモノトス

第十四條 條規第十七條ニ據リ地方税ヨリ支辨スヘキ工費ハ郡役所ニ請求スルヲ常例トナスモ物品購入等ハ此手續ニ由ラス直ニ當廳ヨリ下渡スコアルヘシ

第十五條 地方税補助ノ道路ト雖モ並木里程標等ニ係ル費用ハ地方税ヨリ補助セサル可シ

第十六條 橋梁流落ノ際戸長ヨリ臨時出ス處ノ渡船及川越人夫ニ係ル賃錢等ハ國縣道ハ地方税ヨリ里道以下ハ地元町村ノ町村費及協議費ヨリ支辨スルモノトス尤モ地方税ノ支辨ニ係ルモノハ一時町村費ヨリ繰替ヘ置キ精算ノ上請求スヘシ

第三章 雜件

第十七條 直管工事ニ要スル人夫職工ノ招集及物品ノ購入ハ戸長之ヲ擔掌シ出張員ト協議シ目論見概ノ金額ニ超過セサルヲ要ス

但受負ニ付シ又ハ當廳郡役所ニテ辨理スルコトアルヘシ

第十八條 郡役所ニ於テ許可セシ工事ノ創竣等モ條規第廿條ニ據リ郡役所へ届出テシメ毎半年之ヲ製表シ八月報告スヘシ

但精算金額ハ總額諸式職工人ノミヲ掲クルモノトス

第十九條 工事假目論見或ハ竣成検査等ノ爲メ郡吏ヲ派遣スルハ豫メ期限ヲ定メ置クヘシ

第二十條 天變地異ノ爲メ地方税負擔ノ道路橋梁堤防河岸等ニ破損ヲ來シタルモノハ所轄戸長ハ被害ノ日ヨリ五日間ニ詳細ナル取調書ヲ製シ當廳へ報告スヘシ

第廿一條 渡錢ヲ徵スル渡舟新設轉換願ニ添付スル調書ハ水行ノ景況川中及ヒ洪水ノ中渡舟等ノ數常水、中水、洪水ノ中渡舟等ノ數渡舟子ノ人員等

ヲ具シ圖面ハ近傍ノ景況ヲ描出スヘシ

第廿二條 橋梁流落ノ際五日以内ニ假橋ヲ架スヘカラサル場合ニ於テハ郡長ハ其事由ヲ具シ處分方ヲ伺出ツヘシ

第廿三條 國縣道ニ屬スル橋梁ニシテ屢流落シ通行頻繁ナル分ハ豫メ假橋工費ヲ調査シ伺定シ置キ流落ノ際ハ直ニ架設シ届出ツルヲ得

第廿四條 所轄兩役場以上ニ跨ル橋梁流落スルキハ豫シメ順番等ノ手續ヲ設ケ置キ臨時差支ヘサルヲ要ス尤モ渡船川越等ノ爲メ要スル費用ハ里道ハ町村費等ニテ支辨スヘシト雖モ若シ關係ノ町村狹小ナルカ又ハ微力ニシテ其經費ヲ支辨シ難シト認ムルモノハ豫シメ其事情ヲ具シ渡船渡船子、船及川越人夫ノ人員ヲ定メ賃錢ヲ通行者ニ徵收スルコトヲ稟請スルキハ時宜ニ據リ許可スルコトアルヘシ

第廿五條 渡津船橋等條規第二十四條ニ據リ建設スル水量標ノ位置用材工法記載方等ハ當廳ノ指揮ニ從ヒ毎箇所ニ就キ常水中水洪水等ノ點ヲ定メ置クモノトス

第廿六條 地方税直管ノ工事等ノ爲メ死傷シタルモノハ所轄戸長ニ於テ左ノ項々ヲ具セル取調書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ上申スヘシ

但第一項ハ董役者ニ於テ取調ヘ其他ノ取調方ヲ所轄戸長へ通牒スヘシ當廳管轄外ナルキハ其趣ヲ上申スヘシ

一 死傷者ノ景況

二 傷痕ノ等級其當時狀シ雖キモノハ其趣ヲ記シ置クヘシ

三 戶籍寫

四 戶主ニアラス且妻子ナキ者ト雖モ同居ノ者ニシテ死者ニ頼リ生計ヲナシタル遺族アレハ其事由

第四章 潰地

第廿七條 工事ニ由リテ生スル潰地ハ所轄郡長ニ於テ取調ルモノトス尤モ其取調ハ工事ノ設計ト連帶

スルヲ以テ其際關係町村役場ニ就キ土地臺帳或ハ圖面實地ニ携帶シ誤謬ナキヲ要ス

但町村或ハ一己人等ノ協議費ヲ以テ計畫スル工事ニ對スル潰地ハ計畫者ニ於テ取調ルモノトス

第廿八條 潰地調査表ニハ字、番地、地種目、原反別、潰地反別、殘反別、畦畔等ヲ分明ナラシムルヲ要ス

第廿九條 潰地調査表ハ收稅部出張所ニ至リ地券臺帳ト照合シ每筆主任郡書記捺印ヲ捺捺スヘシ

第三十條 耕地ノ全部潰地トナルキハ之ニ屬スル畦畔ニハ別ニ代價ヲ與ヘス若シ其幾部潰地トナリ又

ハ本地ニ及ハス畦畔等ノミ潰地トナリ其殘地ニ於テ更ニ之ヲ設ケサル能ハサルモノニハ後ニ畦畔等

トナルヘキ本地ノ代價ニ工費ヲ合セ下附スルモノトス

第三十一條 潰地トナルヘキ地上ニ生スル植物ハ本地畦畔ヲ問ハス移スヘカフサルモノハ之ヲ買上ケ

移スヘキモノハ移轉料ヲ下附スルモノトス

但米麥等ノ收實スルニ非レハ價值ナキモノニシテ中途艾除スルモノニハ其勞力ニ對スル料金ヲ附

與ス

第三十二條 建物及ヒ其他ノ移轉料ハ其距離一町ノ地ヘ移轉スヘキ見込ヲ以テ之ヲ算出スルモノトス

第三十三條 潰地及移轉料等ヲ寄附セントスルモノアルキハ其各人ニ對スル金額人名官位族籍等ヲ明

記セシ表ヲ潰地調査表ニ添付スヘシ

第五章 設計心得

第三十四條 總テ工事ヲ設計スルニハ經濟堅牢便利ノ三旨ニ原ツキ實際ニ就キ成ルヘク他ノ溝渠等ニ

障礙セサルヲ要ス

第三十五條 總テ工事ノ目論見ヲ立ツルハ先ツ用材集收ノ便否及ヒ其代價等ヲ調査シ然ル後計畫スヘ

シ

第三十六條 國縣道ノ改築轉換等ハ内務省訓令第十三號ニ據ルモノトス其補助線路ニ係ルモノト雖モ

馬車ノ通行頻繁ナルモノハ成ルヘク之ニ準スヘシ

第三十七條 道路ノ修繕ニシテ止ムヲ得ス碎石ヲ用ヒスシテ砂礫ヲ引込ムキハ一「インチ」立方以下半

「インチ」立方以上ノモノヲ用フヘシ尤モ置砂礫ノ厚薄ハ該訓令第十二條ニ準據スヘシト雖モ實際ノ

地質ニ隨ヒ之ヲ取捨スヘシ

第三十八條 山腹ヲ廻リ丘垤ニ沿フ道路ニシ若シ平坦ニ築成スルキハ其山沿ノ邊ヲ低下スルヲ凡ソ五

十分ノ一ニシテ水吐ニ注意スヘシ

第三十九條 丘脚山腹等ヲ缺崩シテ道路ヲ築造スルキハ其缺崩傾斜ノ度ハ石質ヲ除クノ外ハ凡ソ三十

度以內ヲ適度トス其止ムヲ得サル場所ト雖モ四十五度以上ニ上ルヘカラス

第四十條 溪谷山脚等ニ浴ヒ道敷ヲ築キ立ツルキハ成ルヘク其兩邊ハ石積トナスヘシ若シ止ムヲ得ス

敷粗桑組繼チナスモ十分ニ其築造方ヲ堅牢ナラシムルヲ要ス

第四十一條 橋梁ヲ架スルニハ流水ノ景況低水位、洪水位、水行ノ變遷、漂流物ノ有無等ヲ云ニ考ヘ橋臺ノ位置ニ注意シ以テ計畫スヘ

シ尤モ川幅三十間以內橋臺ノ高二間以上ノ場所ニアラサレハ劔橋ヲ構造スヘカラス

第四十二條 眼鏡橋釣橋持合橋等學理ノ作用ニ成ル構造法ハ材力ヲ初メ風力及冰雪ノ作用其他ノ學理

ヲ究ムルニ非レハ之ヲ設計スルヲ得ス

第四十三條 通常ノ橋梁ヲ改架スルニ已ムヲ得ス舊木材ヲ用フルヲアルモ行桁以上ニシテ修繕ノ際取

リ換ヘ得ヘキ場所ニアラサレハ之ヲ用フルヲ得ス

第四十四條 治水ノ工事ハ護岸制水ノ區別並ニ水位ヲ明ニスルヲ要ス

第四十五條 堤塘ヲ築クニハ都テ水面ニ向フ邊ヲシテ成ルヘク傾斜ノ度ヲ緩ニセシメ三十度以上ニ上

ルヘカラス

第四十六條 柴枝并木材ヲ以テ構造スルモノ枕床、置床、其ハ總テ之ヲ水中ニ使用シ其水上ニ使用スヘキモ

金何程	(聯合會議員旅費又ハ小使等ニ給與ノ費)	雜給
金何程	(備品及全繕ヒ費薪炭油筆墨紙等ノ費)	需用費
金何程	(會場借家費)	借家費
一金何程		土木費
外金何程		「地方稅補助」
小以金何程		
內譯		
金何程	(修繕掃除等ノ諸費)	道路費
金何程	(橋梁新設修繕等ノ諸費)	橋梁費
金何程	(渡船新造修繕守小屋等ノ諸費)	渡船費
金何程	(堰埭溜池用惡水路新設修繕浚渫其他水番人灌溉擔當人手當等ノ諸費)	用惡水費
金何程	(堤防ニ關スル諸費)	堤防費

一金何程		衛生費
內譯		
金何程	(備醫員給消毒藥品費器具新調其他入夫及ヒ掃除等ノ費)	傳染病豫防費
金何程		下水溝渠修築費
金何程	(赤貧者ノ子弟ニ種痘スル費)	種痘諸費
金何程		雜費
一金何程		救助費
內譯		
金何程		施療費
金何程		施恤費
金何程	(以上二項ハ赤貧者ニシテ病氣或ハ被害ノ爲メ自活シ能ハサルモノ又ハ孤寡孤獨廢疾無告者ヲ救恤スルノ費)	
一金何程		災害豫防及警備費
內譯		
金何程		儲金敷費
金何程	(儲倉積穀金等ニ係ル諸費)	
金何程	(樹木穀菜等ノ蟲害豫防費及驅除費)	蟲害豫防費

金何程

(火防ニ係ル人夫及諸器具費)

消 防 費

一金何程

内譯

勸 業 費

金何程

(勸業集會費試驗費植林獎勵等ニ係ル諸費)

勸 業 諸 費

金何程

(勸業委員給料旅費及職務取扱ニ係ル諸費)

勸 業 委 員 諸 費

一金何程

「外ニ」

教 育 補 助 費

「一金何程」

「積 金 利 子」

「金何程」

「授 業 料」

「金何程」

「雜 品 賣 却 代」

小以金何程

何 小 學 校 費

但支校何ヶ所派出所何ヶ所共

内譯

金何程

俸 給

(校長訓導授業生給)

金何程

雜 給

(旅費小使人足等ノ費教育慰勞手當生徒賞與費)

金何程

(備品及ヒ繕ヒ費薪炭筆墨紙書籍器械等ノ費)

需 用 費

金何程

(學校新築及修繕費)

建 築 修 繕 費

金何程

(學校附屬地地租地方稅其他諸雜費)

借 家 借 地 料

雜 費

一金何程

内譯

教 育 費

金何程

(教員給)

但簡易某學校費
俸 給

金何程

(教員旅費小使費)

雜 給

金何程

(備品及繕ヒ薪炭油筆墨紙書籍器械費)

需 用 費

金何程

金何程

建 築 修 繕 費

借 地 借 家 料

金何程

一金何程

(豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニ充ル費)

豫 備 費

合計金何程

「丙」朱書

「外」

「金何程」

「地方稅補助金」

「金何程」

「積金利子」

「金何程」

「授業料」

「金何程」

「雜品賣却代」

「通計金何程」

(每議按ノ金額ヲ集算シ別紙トシ總議按ノ終尾ニ附ス)

(議按毎ニ説明書ヲ附シ小費目ニ細目ヲ内書キニシ其算出方ヲ詳記スヘシ)

乙第何號

明治何年度何町何村外何ヶ村(何町)何村(何町)村費收入豫算議按

一金何程

地價割

但總地價又ハ何地價何程何圓ニ付金何程

一金何程

營業割

但何營業若干内壹等若干此金何程貳等若干此金何程、又ハ何々何程何々何程

一金何程

戶別割

内

金何程

總戶別割

但戶數何戶壹戶ニ付金何程

金何程

戶別等級割

但壹等何戶壹戶ニ付金何程此金何程二等何戶壹戶ニ付金何程此金何程、、、、

金何程 家屋建坪割

但建坪何坪壹坪ニ付金何程 算出建坪割

金何程 但算出坪何坪壹坪ニ付金何程

一金何程 雜收入

内

金何程 但何々收入(戶長役場備付不用品賣拂等ノ類)

金何程 但授業料積金利子等ノ類

金何程 寄附金

金何程 前々年度ヨリ越高

金何程 地方稅補助

合計金何程

徵收期限

何月 何步

何月 何步

○訓令第二百二十五號 十一月十九日
訓令第二百十二號追加ノ件 (本文訂正済)

郡役所 戸長役場

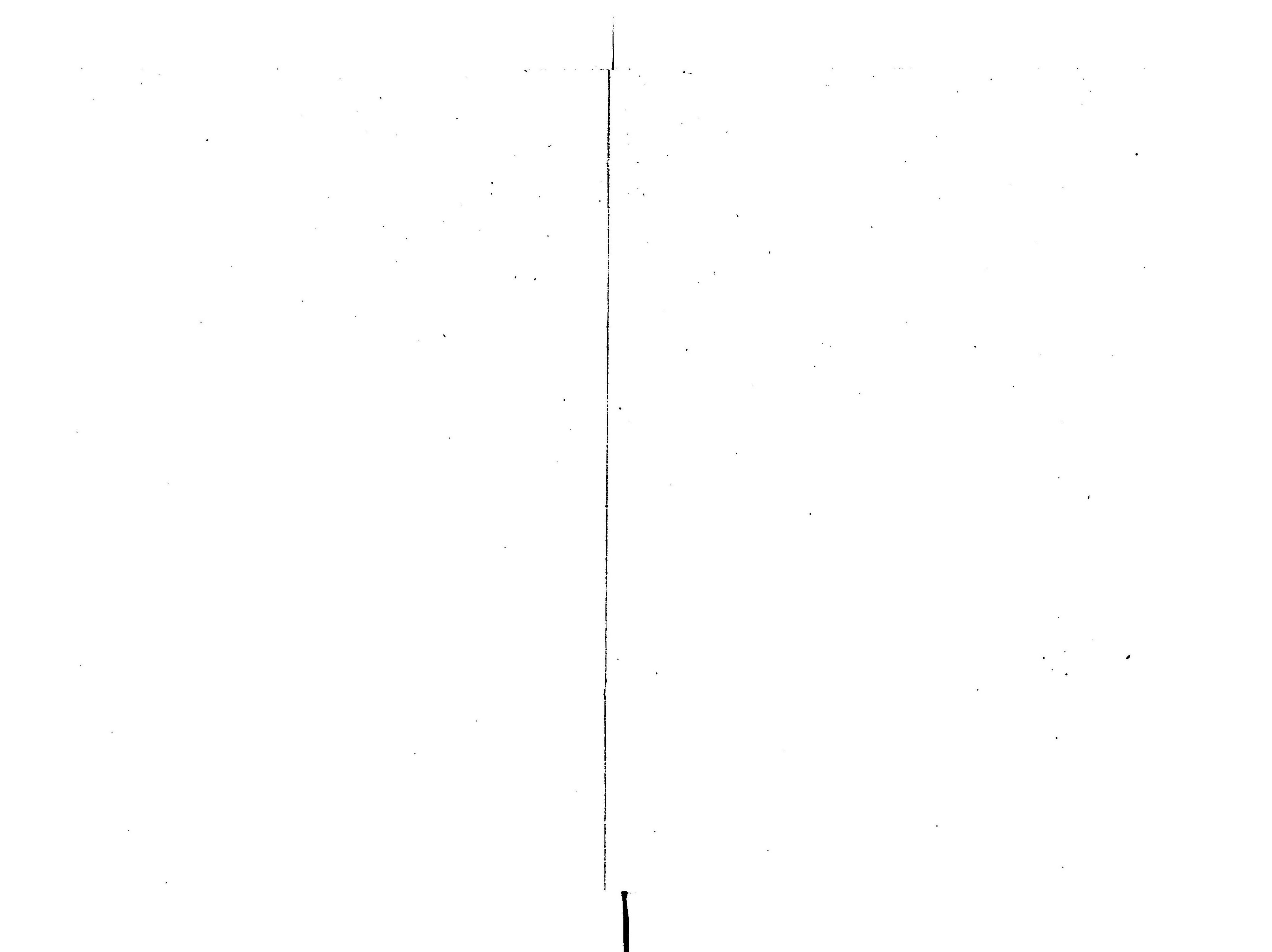
○訓令第二百三十一號 十一月二十二日
(廿二年^五月 縣令第二百二十三號ヲ以テ更正)

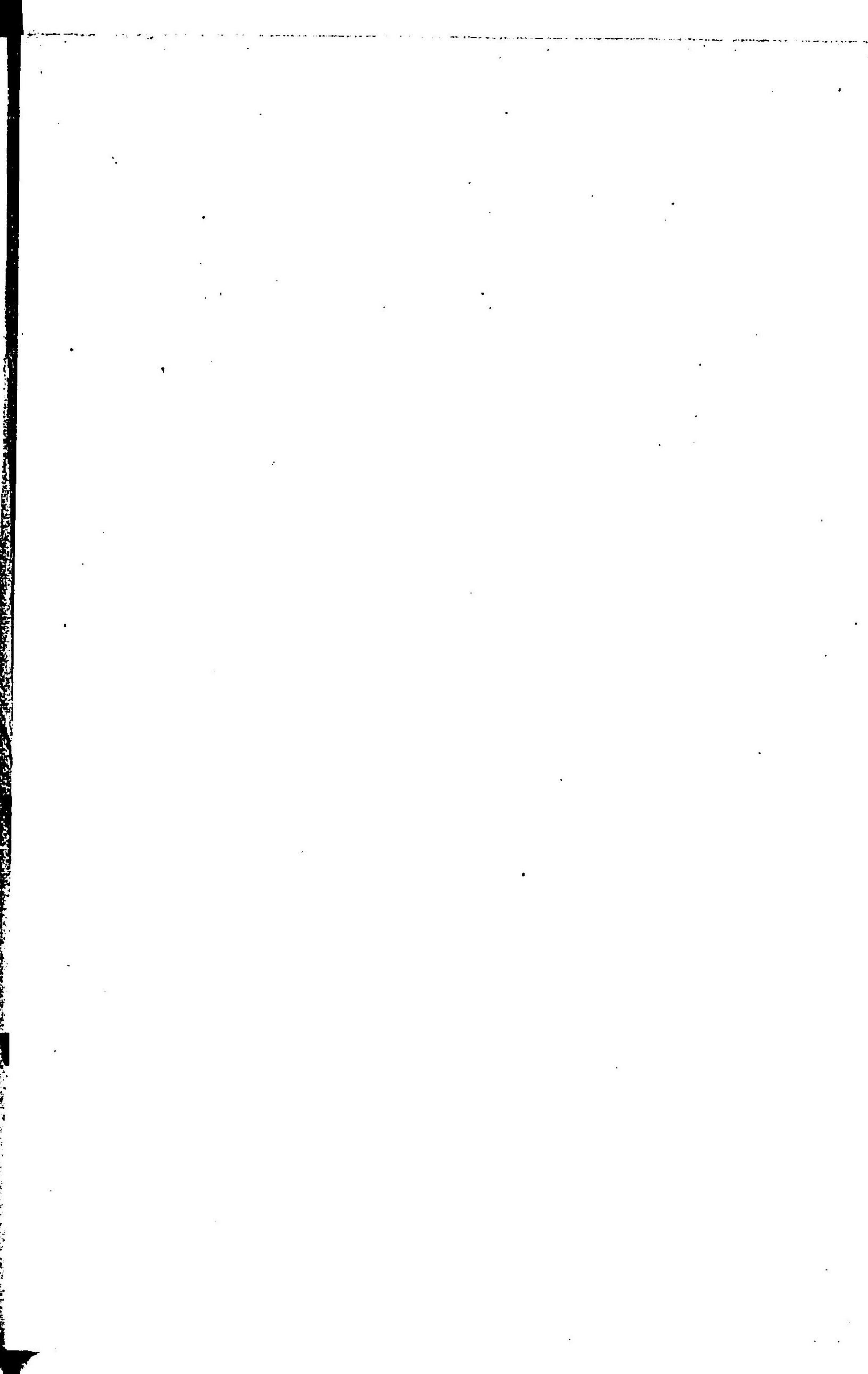
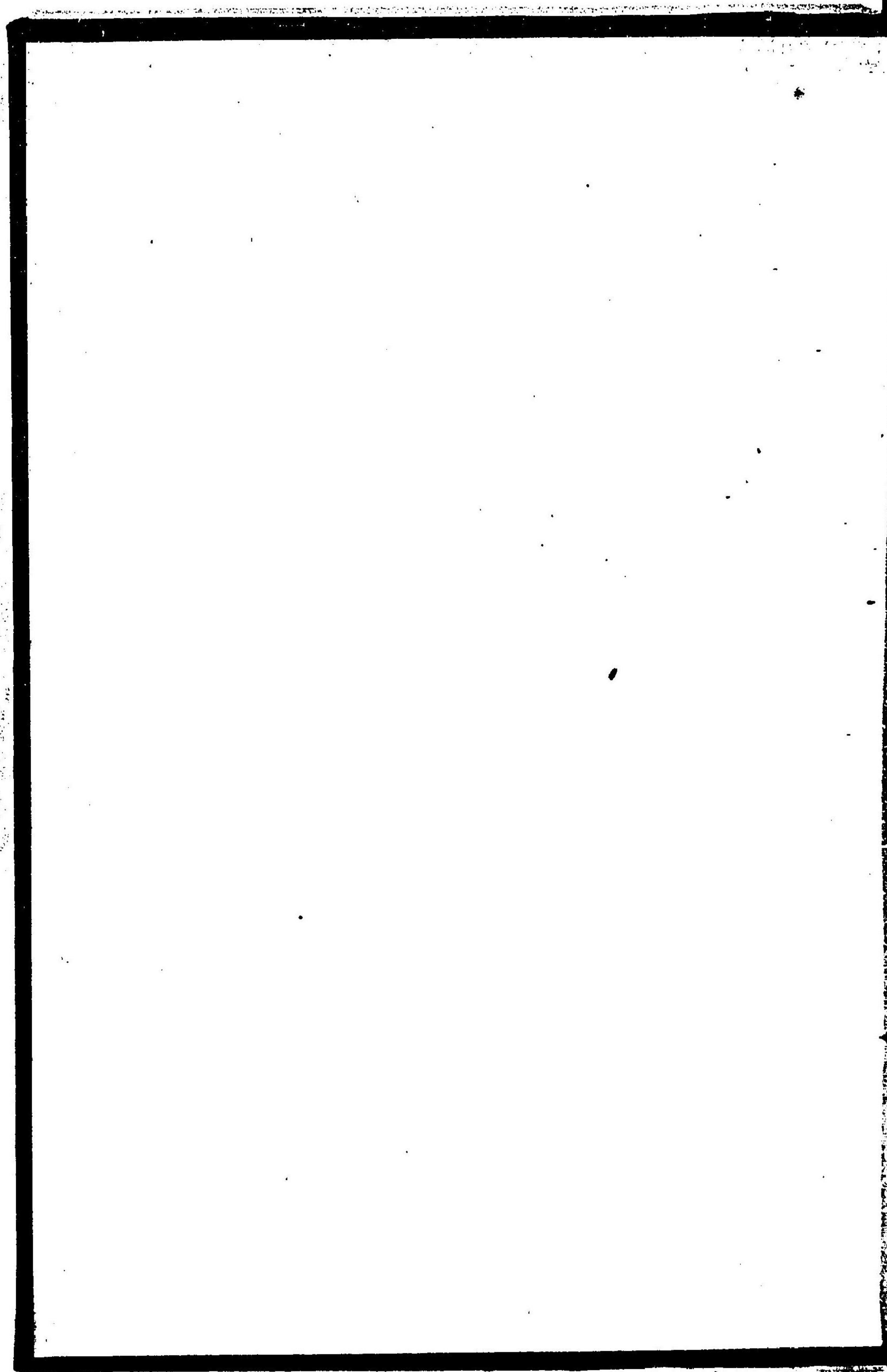
戸長役場

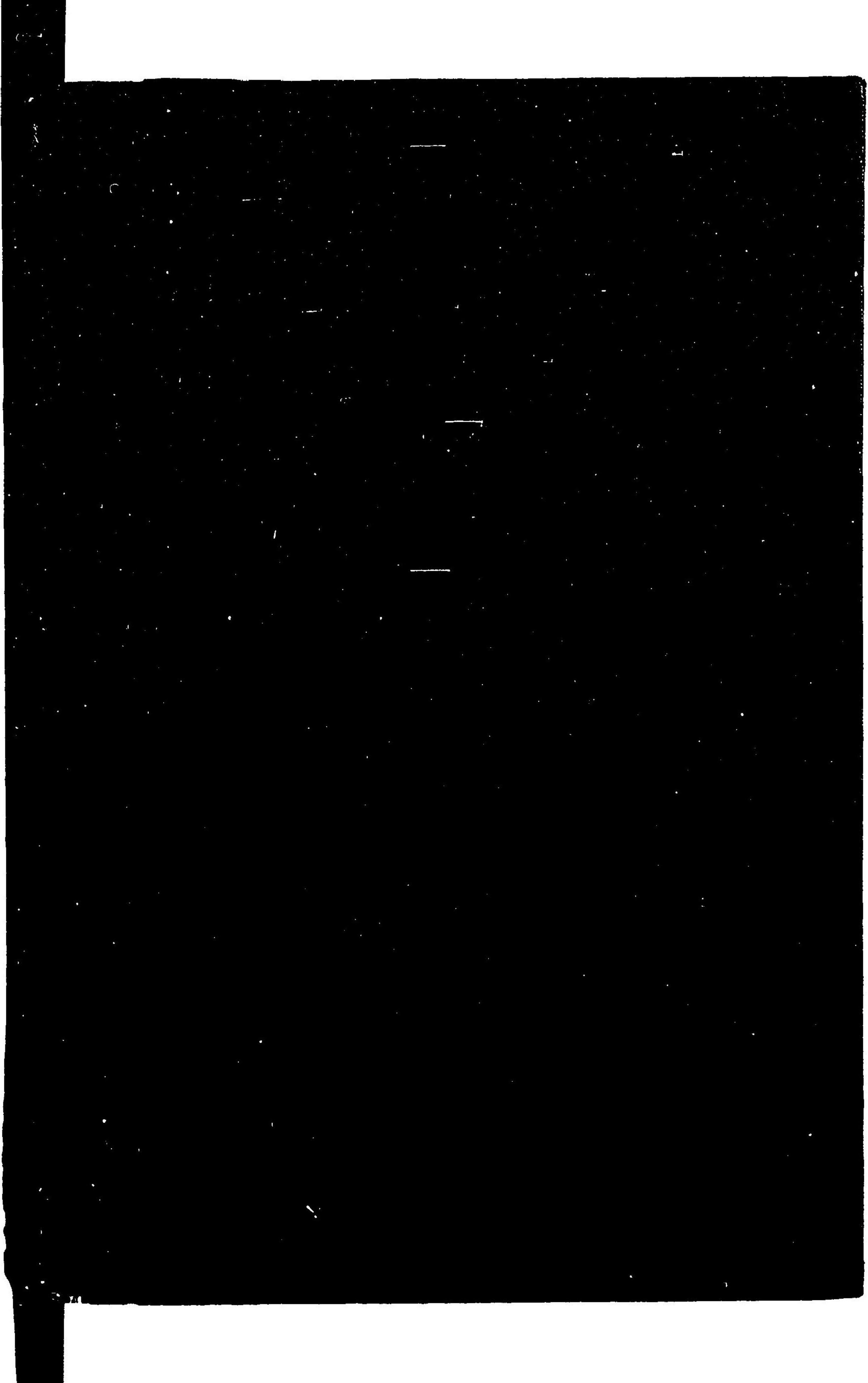
○訓令第二百二十三號 十一月廿五日
(廿年縣令第二百三十號ニ依リ消滅ス)

郡役所 戸長役場

十九年度分終







12
113
55-06

禁
電
子
式
複
写

031353-001-6

CZ-1113-55-06

長野県布達訓令告示類纂

明治8年1月-28年12月

木次 嘉一郎 / 編

M24-29

BBD-0566



